

「意識の流れ」 ホームページより

私の瞑想より
vol.3

—
目次

テーマ「お母さん」

- 11 中心に近づいていこうか、離れていこうかというところで彷徨っている状態。誠に申し訳ありませんが、今、そういう状態では、とても、とても、という感じですよ。
- 55 私は、ある意味敏感かもしれないかもしれませんが、いわゆる心の窓が開いたとか、開きかけとか、そういう感じを自分に持ったことは一度もありません。……………
- 71 いつまでも苦しい、苦しいと言っていないで、喜びの自分、温もりの自分、幸せだった自分を蘇らせる方向に、自分の歩みを進めていってください。……………
- 119 あなたは、しっかりと心に母の温もりを感じ広げていますか。……………
- 147 母の思いが伝わってきます。たくさん母から思いが伝わってきます。……………
- 167 みんな自分の心の中にあると言われて学んできたけれど、そのことをどれだけの人が、どの程度心で分かっているのだろうか。……………
- 203 お母さんに産んでもらって、そして、学びに繋がった今があります。……………
- 281 お母さん、お母さんと噴き上がってくる心の体験、皆さん、もうすでにされていると思いますが、それは本当にすごいエネルギーでした。……………
- 316 学びの基本は母の温もりです。……………

テーマ「田池留吉」

- あなたの田池留吉を思ってください。田池留吉はあなたの外にはありません。
- 20 田池留吉の肉にとらわれたら、自分の心を落としていきます。……………
- 63 私の不思議と驚き、感動は、やはり田池留吉に心を向けて瞑想をしたときに自分の心に響いてくる世界です。……………
- 95 私は本当に幸せな意識だと思います。幸せな存在だと感じます。……………
- 103 思う先は一つ。いつも田池留吉を思い、愛を思い、今を喜んでいればすべてがうまくいく。……………

130	あなたは、田池留吉氏と接するとき、自分の心を見えていますか。肉基準の自分の心を見えていますか。……………	40
173	私が以前から常々思ってきたことがあります。それは、学ぶ難易度です。……………	42
195	自分の本質、愛のエネルギーを愚弄してきた自分が、その自分の本質の愛に目覚め、喜び、温もり溢れる自分に帰っていくためには、どんなに凄まじいエネルギーを垂れ流し続けてきたかを、本当に心の底から知ることが第一でした。……………	43
196	田池留吉を思つて瞑想をして、心に響いてくる喜び、温もり、幸せを実感していきましよう。……………	44
214	田池留吉を思う瞑想。愛を思う瞑想。淡々と、そして粛々として実行です。……………	45
233	ともに、ともに歩みを進めていける喜びだけをお伝えします。……………	46
237	愛へ帰ろうと呼び掛けてくれている思いに、本当に真摯に喜びで向き合つていきましよう。……………	50
240	心をしっかりと田池留吉に向けていきましよう。……………	51
252	どんな時も、どんな状況の時も、ただ一点、田池留吉に心の針を向けて合わせていくこと、それだけです。……………	52
254	ふるさとの歌、歌っていますか。口ずさんでいますか。……………	54
262	田池留吉の意識とともに存在している喜びだけが心に伝わってきました。……………	55
263	九月、十二月のUTA会セミナーの勉強時間が短くなりましたが、勉強は時間の長短ではありません。……………	56
265	本当に愛のエネルギーを心で感じていけば、もう真つ直ぐに田池留吉です。……………	57
266	愛はあなたの中のあるさと。ここへあなたの心の針を向けて、どんどん自分の中から沸き起こる喜びと温もりの世界を堪能してください。……………	58
268	田池留吉の世界と通じる喜び、幸せを心にどんどん感じていきましよう。……………	58
283	田池留吉を思うということが愛なんです。……………	59
288	田池留吉の世界にすべてを委ねる。全託する。……………	60

テーマ「アルバート」

- 2 アルバートの波動と触れていたい。心の中がアルバートを呼んでいる。……………
- 117 アルバートを呼ぶたくさんの意識達。無数の意識達。宇宙に思いを向けていけば、アルバートを呼ぶ無数の意識達があることを心に感じます。……………
- 181 アルバートの波動……………
- 183 「意識の流れ アルバートとともに」の出版から一〇年近くになります。……………
- 184 私は、本当にアルバートの中で、アルバートの波動を喜び、愛だった私達のふるさとへ一歩、一歩着実に歩みを進めていく仲間達と、心を通じ合わせていきたい、いこう、いくんだという思いが強いです。……………
- 312 今、田池留吉、アルバートと心から呼べるのが本当に嬉しいです。宇宙に思いを向けて、UFO達とともに、形のないUFO達とともに、アルバートを呼んでいける喜びを感じています。……………

テーマ「愛のエネルギー」

- 36 意識の世界は、一瞬思えば通じる世界です。……………
- 43 今、私はある場所にいます。ここは、私が主に瞑想をするときに使う場所です。愛のエネルギーを、各部屋の色々なところに注入するという作業をさせていただきました。……………
- 109 愛のエネルギーが注入された品物。……………
- 206 自分が出してきたエネルギーを心で感じてきましたか。感じていますか。……………
- 227 円盤、噴霧器、その他、愛を思うことの一助として提供された様々な品物。純水、水素水等々、確かに身体にいい作用をします。あとは、それを使う側の問題です。……………
- 239 心の中の喜びも温もりもみんなあなたのものです。そしてまた、心の中の闇もあなたのものです。……………
- 280 パツ・パツのエネルギー。田池留吉を瞬間思い、対象物に思いを瞬間向ける。……………

テーマ 「意識の流れ」

1 たただただありがたいと思います。思いを馳せる、思いを向けることを知り、私は本当に幸せです。……………

82

10 二か月ほど前に意識を向けさせていただいた人の訃報に接し、自分の今ある時間を大切に、そして真摯に自分と向き合っていこうという思いを確認しました。……………

82

53 「愛に帰る道を、こうして肉を持って学んできたんだ、過去からずっと。」……………

84

66 思うことが喜びで、思えることが喜びで、あと何がありますか。……………

85

68 私達は愛に帰る、本当の自分に帰る道筋にあります。……………

86

99 過去に死んだ自分と語り、来世肉を持つてくる自分と語り、益々今世という時間は、その橋渡しとして本当に重要なポイントでした。……………

87

135 愛へ帰ろう。温もりへ帰ろう。喜びとともに。……………

88

172 「すべては真実の自分に目覚めるために。愛である自分に目覚めるために。」……………

89

185 日々、生活のリズムが一定していて、そして、ありがたいの思いが自然に出てくる生活。……………

91

186 思いの世界に生きている、思いの世界にある私とともに生きている、と認識しているから、私は瞑想をしたくなるんです。……………

92

187 人里離れた山奥に住まいしているわけではない。いいえ、その反対の街中の雑踏に、少し触れながら生活をしています。……………

93

194 日々の瞑想の中で、自分の思いをしっかりと確認しています。……………

94

198 せめて、生まれてきたことに、産んでくれたことに、心の底からありがとう、本当に心の底からありがとうと、自分に限りなく優しく言えるようになりましょう。……………

95

204 心を向ける喜びを知って、心に向けていけば響き伝わる波動の世界を、繰り返し、何度も感じる事ができて、今、その喜びと温もりの中にある自分を実感できれば、あと何を望みますか。……………

96

215 自分がこれまで生きてきた今世の肉の時間を思ってみましょう。……………

97

- 218 最近、日本の国においても、起こってくる事件、事故の異様さが目立ちますが…
- 223 学ぶということは、自分の心を見るということです。 ……………
- 225 愛を捨て去った間違いの転生を経てきました。本当にやっと、やっとなんです。
- 232 心で学んだことを、しっかりと自分のこれからのために繋いでいくことに違いはないと、私は自分の中で確信しています。 ……………
- 238 田池留吉、アルバート。心の中に思いを向けます。 ……………
- 243 すべては喜びに帰る、愛に帰る、そう自分の中に響いてくる幸せと喜び。 ……………
- 249 心を、ただただ田池留吉のほうに向けて、そして喜び、ありがとうの時間を重ねていってください。 ……………
- 260 私は、これから一〇年、二〇年……と意識の流れの中から、世の中という濁流を見させてもらい、意識の世界の学びを進めていきます。 ……………
- 276 私達はみんな自分との固い約束を交わしてきました。 ……………
- 285 榎原、有馬、京都、池田、箕面とセミナーが予定されています。 ……………
- 289 自分の本来戻るべきところ、帰るべき場所を特定できることが、唯一自分が生まれてきた理由でした。 ……………
- 318 泣けてきます。涙が溢れ出てきます。嬉しいです。本当に嬉しいです。 ……………
- 324 宇宙が動く。愛のエネルギーの中で宇宙が動いていく喜びが、これからの時を経て体験できるんです。 ……………
- 332 もうすでに明暗がくつきり、はつきりとしてきていますが、これからさらにそれらの差が大きく開いていくだろうと思います。 ……………
- 337 愛に帰る道があることを、しっかりと、はつきりと示されたのだから、その道を自分の中で見つけることが、それぞれの仕事です。 ……………
- 341 真実からずれた心は、いずれ近い将来必ず現象化してきます。 ……………
- 346 自分がどの程度学びを信じ、愛に目覚めていく道を歩いていこうとしているかを問われる局面を、それぞれに迎えるでしょう。 ……………

テーマ「千載一遇」

144 自分ということで恐縮ですが、私は学び始めてから、その都度、勉強の中で提示された課題というか宿題を、自分なりにすべてこなしてきたという思いを持っています。……

168 今世の田池留吉との出会いを千載一遇のチャンスとしてとらえ、その通りに自分の歩みが続けてきましたか。……

174 千載一遇の出会いを本当にありがとうございました。……

220 三十三歳で学びの門を叩き、それから二〇年余り。もう決して若くはない。……

245 「喜びで、喜びで、ともに喜びのこの道を進んでいきましょう。」……

286 無条件に自分が自分に受け入れてもらっている、この思いに、あなたはどの程度触れているでしょうか。……

338 冷たく凝り固まってしまった心、いびつに歪みねじ曲がってしまった心、それらの心は、ある特殊な特定の人達だけのことではありません。……

345 学びを知って、学ばせていただいていることを喜んでいる人は多いと思います。

テーマ「自己確立」

94 セミナーがあるからセミナーに参加する、そういう姿勢でセミナーに臨むのは止めましょう。……

98 本当の自分とは何ですか。本当の自分はどこにありますか。……

105 それぞれに自分の課題はあると思いますが、基本的には喜びです。……

123 心を向ける、心の針を合わせる、これ一本なんです。……

127 田池留吉を思う瞑想、喜びとなっていますか。温もりがどんどん響いてきますか。

129 意識の転回をしていく以外に何もありません。……

150 私は自分の中の温もりを知っています。それが本当の私だと知っています。心で知っています。……………

158 今世生まれてきて、そして何らかのルートで学びに繋がったけれど、それを精一杯、真摯に活かし切れずに死んでいく人達もあるかもしれません。……………

188 よく耳にする話があります。「もし、この学びをしていなかったならば、今頃、私は、私達夫婦は、親子はどうなっていたらどうか。」……………

193 心の針を自分の中に向けてる生き方、存在の仕方が、本当の生き方、存在の仕方だというのは、学んでいる人達であるならばみんな知っています。……………

211 今日から三日、また喜びで素晴らしい学びの時間と空間をいただきます。……………

216 どんなことも基本です。基本、基礎です。……………

247 自分の心を見て、自分の出すエネルギーを知って、間違ってきた自分のエネルギーの質を変えていくように、変えていくように仕向けている、自分の中の愛に目覚める。……………

274 受けていけば受けた程度の結果が出てくるし、そうでなければそうでない結果が出てきます。……………

278 愛へ帰る道がすでに見えている人は、自分のペースで喜びながら、楽しみながら、しかし、真剣に自分の予定のコースをこなしていってください。……………

テーマ「UTAの輪」

3 UTAの輪の核・愛に向けて瞑想をしましょう。……………

5 UTAの輪の核・愛に思いを向けました。……………

30 もちろん、肉ある田池留吉とともに学びを進めていけることは喜びです。しかし、私は、肉なき田池留吉とともに学びを進めていく喜びも確信しています。……………

31 UTAの輪の中で、さらに、自分の意識の世界が大きくなっていくように思います。……………

- 178 生活水準もバラバラで、価値基準も色々とあって、人生に対する満足度もかなり
の開きがあるのが、形の世界のお話です。……………
- 228 学びに出会い、セミナーにずっと通い続けられた環境を感謝します。……………
- 230 もうお分かりのように、少人数セミナーは、UTAの輪を念頭に置いています。……………
- 256 UTAの輪が、徐々にその動きを始めていますが、私の中ではまだ具体的にどの
ようにしていけばいいのかということが上がってきていないように思いますが。……………
- 257 UTAの輪へ移行……………
- 330 すべては波動の世界です。……………
- 333 先日の池田のセミナーで、愛は生きている、生成発展するという話がありました。……………
- 349 これから、UTAの輪に集ってこられる人達もあるでしょうが、大半の方は、田
池留吉氏のもとですでに学びをされてきました。……………
- 350 「UTAの輪の中でもに学ぼう」というタイトルのホームページを立ち上げま
した。……………

テーマ 「天変地異」

- 41 日々、淡々と心を見る。そして喜び、喜びで生活をして、素直に真剣に瞑想の時
間を持ち、自分の死後を感じていく。……………
- 42 水道水も、一枚のティッシュも、一枚の万札も、0・1秒で愛のエネルギーが注
入でき、その状態が変わるのに、人間の意識の世界は、0・1秒でなぜ変わらな
いのでしょうか。……………
- 50 どんどん学んでいく方は学んでいくし、落ちていく方は落ちていきます。……………
- 62 みんなそれぞれに愛へ帰る道を行こうとしています。……………
- 67 水だけではありません。太陽の光も熱も空気もみんなエネルギーです。愛のエネ
ルギーです。……………
- 114 家庭内暴力、虐待、差別、貧困、戦争、戦争……………
- 175 愛のエネルギーが田池留吉という形を持って、三次元にいる私達に私達の本当の
姿、愛というものを伝えに来てくれました。……………

272 山が噴火する一報をテレビで見ながら、まだまだ序の口だと心に上がっていました。……………

テーマ「二五〇年後」

261 二五〇年後の私が語ります。……………

テーマ「次元移行」

134 もう殆どの方は、気付いておられるでしょう。……………

145 昨日は、スカイプ瞑想会でお勉強させていただきました。……………

179 明日から二泊三日のセミナーが二回（十四日～十六日、十七日～十九日）開催されます。……………

190 私は、凄まじいエネルギーであるとか、狂いに狂ったエネルギー、いわゆるブラックを称賛するつもりはないけれど、エネルギーの大きさに着目します。……………

282 自分の心の底の、底の、底にあるエネルギーを体感、実感する瞑想の時間がありました。……………

312 一〇年、二〇年、あつという間です。三〇〇年のタイムリミット。……………

テーマ「著名人に語りかける2」

325 イエス・キリストを呼びます。イエスに思いを向けます。……………

326 イエスに思いを向けた翌日、私は、マリアを心に握ったままこの世を去った学びの友の縁者にばったり出会いました。偶然はないので、マリアに心を向けてみます。……………

327 シスター（修道女）……………

328 仏陀のほうに思いを向けてみます。仏陀よ、語りなさい。……………
ステイヴン・スピルバーグさん、あなたの人生はどんな人生ですか。今、あなた
は幸せですか。……………

※この冊子は、田池先生のホームページ (<http://w01.jp/~ag61626601/>) に掲載された内容をまとめたものです。

テーマ 「お母さん」

「お母さん」

「お母さん」

「お母さん」

「お母さん」

11 中心に近づいていこうか、離れていこうかというところで彷徨っている状態。誠に申し訳ありませんが、今、そういう状態では、とても、とても、という感じですか。

私からすれば、そういう方が多いということが、本当に不思議な話です。なぜなんですか。彷徨いながらセミナーに参加しているということでしょうか。私にはとても信じられないことです。

セミナー会場は、自宅学習の確認の場です。セミナーに参加するということはそういうことです。

瞑想をされているのでしょうか。本当に瞑想をされているのでしょうか。目を閉じて、自分に思いを向けていけば、自分の中の優しさ、温もり、喜びが伝わってきますか。響いてきませんか。

何としてでも、今世、自分を次の転生に繋いでいく足掛かりをつけたい、つけよう、そんな思いが湧き起こってきませんか。

「お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう。」

瞑想をすれば、もう今の時期、どなたもこの思いが、はつきりと心に響いてくるのが普通です。何も特別なことはありません。

「お母さん、ありがとう。」の思いに行き当たらなければ、自分に何も伝えることはできません。自分に何も伝えることができないということはどういうことなのでしょう。

自分の存在理由が分からない、これほど哀しいことはないのではないのでしょうか。

55 私は、ある意味敏感かもしれませんが、いわゆる心の窓が開いたとか、開きかけとか、そういう感じを自分に持ったことは一度もありません。だから、狂いそうになるとかどうとか、という苦しみも不安も恐怖もこれまで味わったことはありません。そういう危険な時があったのかさえ、私は自覚なしに学ばせていた

いたということなのでしょう。

その分かれ目は、やはり母の温もりをどれだけ心に感じ広げていたかということだと思えます。私は幸いにして、敏感になる前に、自分の中の温もりを感じていたから、自分の凄まじいエネルギーを感じても、私にはそれが苦しみとか恐怖とか、辛いとか、そういうのではなく、すごいけれど嬉しい、すごいだけに嬉しい、喜びというふうには、自分をいぎなっていけたんだと思っています。本当に自分の計画通りにスムーズに乗れたことに感謝です。

愛を流していくということについても、私はそんなに大それたことだと思っていない。もともとみんな愛なんだから、それに気付いているか否か、それに反抗しているか否かだけです。気付けば流れていくし、反抗しなければ流れていきます。そして、自分の存在が喜びだと感じてきます。思えば流れていくということとを、私の意識の世界は知っています。

私は私の中の優しさや温もり、喜びを信じているし、これからの自分の意識の世界も信じています。この信が愚かな肉を引導していると私は実感しています。毎日の瞑想でそれを確認できる嬉しさがあります。

71 いつまでも苦しい、苦しいと言っていないで、喜びの自分、温もりの自分、幸せだった自分を蘇らせる方向に、自分の歩みを進めていってください。

愛のエネルギーに満ち満ちていることを心で感じていきましょう。

心に向ければ愛です。心に向ければ温もりです。心に向ければ喜びです。

肉、形の世界はやがて、音をなして崩れ去っていきます。

その中で、肉、形の世界に生き続ける意識達は、何を頼りに、何を求めて存在していくのでしょうか。

どうぞ、心の針を自分に向けてください。心の針を自分の中に向けてください。母の思いが応えてくれているのを感じませんか。

素直になって、温もり、安らぎの中にあつた自分を感じて、自分の外には何も

なかったことを痛感、実感してください。

そして、自分の目の前に広がっていく世界を真つ直ぐに歩んでいく喜びに出会っていきましょう。

119

あなたは、しっかりと心に母の温もりを感じ広げていますか。

お母さんと思えば、心に広がっていく温もり、優しさ、喜びの世界ですか。

宇宙も同じです。

宇宙と思い心を向けていけば、ただただ、ただただ嬉しい、優しい広がりの中で、すべてを委ねていける安らぎの世界があります。

間違った宇宙を作り続けてきた意識に、繰り返し、繰り返し、寄せては返す波のように伝えていただきました。

学びの成果をしっかりと携えて、私は、さらに宇宙を思い続けます。

伝えていくと約束していたこと、長く、長く、反故ほじにしてきた自分との約束を、

ようやく、本当によろやく実現にこぎつけたことを、心から喜んでいきます。

ただし、肉を持っているから、肉を通して、自分の心癖がこれも日々、こんにちはと出てきます。しかし、もうそういうことで、自分の軸はずれないことも確認済みです。

すべて母の温もりの中に帰していける喜びを確信していれば、どんどん思っていけばいいだけのことでした。思えば通じ、思えば広がっていく意識の世界。その世界の歩みを、喜んで、淡々と進んでいけばいいという感じですよ。

二五〇年後の肉は、日々の食いぶちから手当てしないとダメな環境だから、それからすれば、今世は本当にゆったりと学びに集中できます。すべては本番の二五〇年後に繋いでいくためでした。

私は、今世の絶好の環境を喜んで受けています。全宇宙とともに次元移行を果たすことだけです。さらに心を向けていきます。

147 母の思いが伝わってきます。たくさん母から思いが伝わってきます。

ありがとうございますだけしかありません。肉を持たせていただいてありがとうございます。

ありがとうございますと言えることが幸せです。

見ることに、聞くこと等、五官によって入ってくるものに心が動かないはずはありません。しかし、心の針を向けて思うことを学んできたんだから、その振幅は驚くほどに小さくなっているはずですよ。

いつも、そしてふっと自分の中に戻る大切さを学び、会得し、自分の中に戻る幸せと喜びを広げていける、こんな人生ほど幸せな人生はないと私は思っています。

自分の中を見つめ感じ、そして、そこから何とも言えない喜びと温もりが湧き起こる。宇宙を思う瞑想は、それを現実のものとして私の中へ返してください。

宇宙を思うことは喜びでしかありません。自分達のふるさと。宇宙＝愛＝私達。だから、宇宙を思うこと、宇宙を呼べることは喜びです。

167 みんな自分の心の中にあると言われて学んできたけれど、そのことをどれだけの人か、どの程度心で分かっているのだろうか。本当にそうだと信じているのだろうか。あなたはどうか。

自己選択、自己責任という言葉もそうでしょう。どの程度、その言葉からくる波動を心で受け、自分の中で咀嚼できているのでしょうか。

学びを奥深く進めていくには、正しい瞑想しかないと感じます。表面的な学びでなくて、もっと深く、そして前へ前へ進んでいくには、正しい瞑想をすることができる必要があります。

正しい瞑想をするには、やはり母の温もりです。温もりの中にどんどん自分をいざなっていく優しさ、パワーがあると確認、確信する体験を重ねていくことです。そうしていくと、段々喜びと温もりが大きくなって、さらに自分を受け入れていく喜びを感じます。喜びと温もりの層が厚くなって、さらに心の針が合ってくるということ、つまり正しい瞑想ができてくるということでしょう。それはまさに

相乗効果です。

203 お母さんに産んでもらって、そして、学びに繋がった今があります。どうぞまずそれを喜んでいきましょう。それから、肉体というものを希^{こいねが}ってきた自分の思いを確認してください。その思いとはどんな思いなのか。田池留吉に心を向けていけばいくほどに、それははっきりと自分の中に響いてくるでしょう。その自分の思いに忠実に、誠実に応えていくことを、繰り返し、母の意識から伝えてもらってきたんです。どなたも。

自分に残された肉を持つ時間、真摯に真剣に自分と向き合っていていきましょう。そして、限らない優しさと温もりの中に、ただただ存在している喜びを心を感じていきましょう。

思う喜び、思える喜び。日々の生活の中で、ふっと、ふっと、絶えず感じてください。思いはエネルギーです。

281 お母さん、お母さんと噴き上がってくる心の体験、皆さん、もうすでにされていると思いますが、それは本当にすごいエネルギーでした。

これほどまでに自分の中の意識達が、母を求めて、温もりを求めていたと本当に心で実感できる今です。だから本当に幸せな時間を持っています。

今、こうして肉体を持って、真実の波動に触れたからこそ、この喜びを体感できるということでした。

当然、生まれてきて本当に良かった、本当にありがとうと、心から、心から思いがせり上がってきます。

異語がどんどん、どんどん出て、異語で語ることがただ嬉しくて、幸せです。この波動の中にずっと存在していたんだ、幸せです。

316 学びの基本は母の温もりです。

母の温もり、本当の母の思いを心に感じ広げていくことがなければ、自

分の底の、底の、底の、奥底のブラックのエネルギーを出すこともできなければ、そのエネルギーに愛が伝わることもありません。

しかし、意識の流れは粛々として流れています。だから、流れにそぐわないものは、厳然として流れる流れの中に自然淘汰される、つまり宇宙の藻屑として彷徨い続けるしかないのです。

それは冷たいのではなくて、自然なんです。それが意識の世界ということなんです。内なる田池留吉を思えるように学んでいきましょう。

テーマ 「田池留吉」

「あなたのの中の田池留吉を思ってください。
田池留吉はあなたの外にはありません。」

あなたの心の針は自分の中です。自分の中に存在する田池留吉の波動、田池留吉の世界はどんな世界ですか。

田池留吉と自分の中に心の針を向けて思ったとき、あなたの心から突き上がってくるエネルギーは、どんなエネルギーですか。

凄まじいエネルギーですか。狂い続け、苦しみ喘いでいるエネルギーですか。温かな温もり、優しさと広がり、ただただありがたうの思いですか。

肉を離れた後の世界があなたの世界です。

今、肉を持つている間に感じ、そして自分を学んでいけるようになってください。

20 田池留吉の肉にとらわれたら、自分の心を落としていきます。

田池留吉の言葉をつかんでもまた同様です。肉とはそういうものです。

つかむ心、握る心、担保してほしい心、その他諸々、田池留吉の肉と日常的に接する人達は、よほど自分の心の管理をしなければということでしょう。

真実の世界を学ぶことについて、ある意味厳しい、難しいという面もあるように私は思います。

まあ、どの道、それぞれ自分の心の中の出来事ですから、自分の心の管理は自分でしなければならぬことです。幸せにいなっていくのも自分だし、苦しみに沈み続けていくのも自分。そういうことをきちつとわきまえて、喜んで、喜んで存在していけばいいだけのことです。

そこで、やはり、自分の中の田池留吉と対話する、つまり、自分の中の本当の自分と対話する、対話できる、そういう確信が自分の中にあること、すなわち、中心棒の確立が、何としても必要になってくるのではないのでしょうか。

63 私の不思議と驚き、感動は、やはり田池留吉に心に向けて瞑想をしたときに自分の心に響いてくる世界です。

愛のエネルギーの注入、たとえば水道水を使つてという形を通して感じる不思議と驚きも、もちろん現実的なものですが、私にとつて、もっと現実的なものは、やはり瞑想を通して感じる心の世界の変化です。

あれほどくそつたれの連発だった意識の世界がこうも変わるものかと、私は、今のこの肉を通して学ばせていただいたことに本当に感謝しかありません。

何の縁もゆかりもない田池留吉の肉がそこにあつて、本当に分かりやすい学びでした。なぜこの人にこんなに反応するのか、それがどのように変化していったのか、本当に私の中では興味ある現象でした。

荒れ狂い、拒否し、抵抗し続けてきたエネルギー、その自分が培ってきたエネルギーを、田池留吉の肉は見事に引き出してくれました。

何に歯向かつてきたのか、何に徹底抗戦の構えで存在してきたのか、本当にす

ごい学びを経てきたんだという喜びしか出てきません。

ただただありがたいです。

今、すつと心に向ける喜びだけを感じています。愛を思い、宇宙を思う瞑想の中で、本当に嬉しい、ありがとうだけが広がっていきます。

思えることが嬉しい。思えることが喜び。ほんの一端でも本来の私と出会ったことが本当に嬉しいです。

95 私は本当に幸せな意識だと思います。幸せな存在だと感じます。

自分の中に心に向ける、思いに向ける。向ければどうなるのか。

たくさん、たくさん学ばせていただきました。そして、これからも、さらに喜びと幸せな存在だったという思いを深めていくでしょう。

本当の自分が田池留吉という肉を通して、その波動、真実の世界の波動を伝えてくれました。

これは、本当にすごいことでした。すごいとしか言えない。

田池留吉の肉を通して、自分が自分に伝えていたんです。自分が自分に教えていたんです。本当にすごいことでした。

だから、田池留吉の肉を肉としてしか見られない段階では、この学びの真髄に触れることはできないということは明白です。

その一方、その肉を頼る、縋る、崇める、カリスマ性を感じるというのも違います。肉は肉です。田池留吉の肉を見て、自分を小さく感じたり、大きく見せようとしたりするそれらの心は、真実から、本当の自分から遠く、遠く離れ去っているんです。

正しい瞑想は、ただただ喜びだけを温もりだけを伝えてくれます。

これが本当の私の世界なんだ、そして、この世界は限りなく、どこまでも、どこまでも進化し続ける広がりなんだ、そういうことを繰り返し、繰り返し確認できる今であることを感じるから、冒頭、幸せな意識、幸せな存在だというんです。

103 思う先は一つ。いつも田池留吉を思い、愛を思い、今を喜んでいればすべてが

うまくいく。

これは本当に正解です。その通りです。

ただし、それは本当に心の針の向け先がその通りなのかどうか、またその度合いがどの程度なのか、もつと言うならば、本当に喜びだけで向けているのか、それとも、すべてがうまくいくというところに重点を置いて、学んでいるのではないか、この辺りが非常に大切なことです。

確かに、学びのポイントは基盤がどこにあるかです。基盤すなわち波動がすべてです。

しかし、今は肉という形を持って学ぶということですから、肉の生活も大事なんです。大事というのは、肉の生活がある程度安定していなければ、現実問題、学びどころではないと思うからです。

経済的にひっ迫していたり、心、身体の状態がひっ迫していたり、そういうと

ころから学んでいくということは、正直言って難しいと思います。

確かに、そういう中においても、しっかりと学んでいけば、学びと出会って良かった、ありがとうとなっていくでしょう。

しかし、学びの喜びは、その程度のものではないし、そこから先のものを感じて知っていくにはということだと思えます。

そうかと言って、肉、肉、肉ばかりでは、とても、とても、です。

あなたは本当に学んでいますか。焦ってはいませんか。周りの勢い、雰囲気にあおられて、自分を見失っていませんか。

どうぞ、着実な一歩を自分の中で進めてください。いつも自分の中に心の針を向けて、自分と対話しながら、自分の中を進めてください。

130 あなたは、田池留吉氏と接するとき、自分の心を見ていますか。肉基準の自分の心を見ていますか。

田池留吉氏とあなたが話をしたりするとき、彼は意識基準なんです。どんな話をしようとも、基準は意識です。あなたはどうでしょうか。

吉本的な話の場合と、学びに関する話の場合とが混在している中で、基準のことなんか吹っ飛んでいるのではないですか。

学びに触れる話を聞いたからといって、また様々な学びに関する試みに参加したからといって、基準の違いのままに時間と場所を共有していれば、ある時に、すと田池留吉氏が私は意識基準ですよ、あなたはどうでしたかと前面に出された時、もちろん、それは田池留吉氏の態度となってくるでしょうが、あなたの心の中心のような思いが返ってくるのでしょうか。

私が本当に言いたいことを、この文章から読み取っていただけられるかどうか分かりませんが、基準ということだけはいつも心に留め置いていかれたらと思います。そうでないと、心の中に眠っていた他力の思いがまたぞろぞろ、ムクムクと起こって收拾がつかなくなる恐れもあるのではないのでしょうか。

173 私が以前から常々思ってきたことがあります。それは、学ぶ難易度です。

田池留吉の肉があつて、今の自分の肉があつて学ぶ状態を1とし、田池留吉の肉がなくて、自分の肉があつて学ぶ状態を2とし、田池留吉の肉がなくて、自分の肉もなくて学ぶ状態を3とした場合、1↓2↓3とその難易度は高くなつていきます。

もちろん、1をクリアしなければ、2、3はクリアできないことははっきりとしています。

日々、宇宙を思い、愛を思う瞑想をしていく中で、この3をしつかりと視野に入れて、今年の後半を学んでいこうという思いが強く感じられます。針が向いているか合っているかではなく、どの程度重ねていけるかということです。肉を外した後も、意識の世界は活動していなければなりません。固まってしまうということは学べないということです。それは私の計画にはありません。だから、自分の計画通りに、今の肉を持っている間、さらに学びを進めていきます。今

肉と来世の肉の間がとても大切だという感じがします。

195 自分の本質、愛のエネルギーを愚弄してきた自分が、その自分の本質の愛に目覚め、喜び、温もり溢れる自分に帰っていくためには、どんなに凄まじいエネルギーを垂れ流し続けてきたかを、本当に心の底から知ることが第一でした。

愛を知らない、捨てた、本当の喜びと温もりを捨てて、地の底に落ちた意識は、自分の作ってきた闇黒の世界が、本当の自分に帰ろうと必死になつてもがき苦しんで叫ぶ思いを拾い、抱き抱え、包んでいく中で、それらの闇黒の世界が放つ喜びと温もりから、本当の喜びと温もりを知っていくんだ、その喜びと温もりが、どんどん本当の自分を蘇らせていくんだということでした。

地の底に落ちてしまった意識は、そういう方法でしか、自分の本質に辿り着けないんです。だから心を見て、自分の出すエネルギーを感じていくことが、どんなに自分にとってすごいことなのか、まさにそれこそが究極の愛だと感じしていま

す。

田池留吉の意識が、その肉を携えて、そういうお勉強をさせていただきました。セミナー会場で、その姿を見て、目を見て、指を見て、異語を聞いて、どれもこれもみんな、自分の中から凄まじいエネルギーが飛び出してくる体験を山のように重ね、ようやく、ようやく、田池留吉と思えば、心が広がり、温もりが溢れてきて、ともに存在する喜びだけが響いてくる今となりました。

だから、今は、瞑想は喜びだけなんです。思う喜び、思える喜び、思うすごさを感じています。

196 田池留吉を思つて瞑想をして、心に響いてくる喜び、温もり、幸せを実感していきましよう。

ああ幸せだ、本当に幸せだ、お母さんありがとう、心の底から噴き出してくる体験を、繰り返し、繰り返し体験して、そしてただただ今という時を迎えている

ことを喜んで、喜んでいってください。

瞑想を重ねてください。正しい瞑想を重ねてください。自分の中がどんなに喜んでいるか、どんなにこの時を待っていたか、待ち続けてきたか、切望してきたか、掛け値なしで諸手を上げて喜んでいたくさんの自分に出会ってください。

思うだけでよかったです。思うことがすべてでした。内なる田池留吉、アルバートを思い瞑想をするだけです。ともに存在する限りない喜びを感じていくことがすべてでした。

そんな世界を日々、常々感じていくように、感じていくようになってくれば、あと取り立てて何も望まなくても、極めて順調に何事も遂行していきます。思いの世界が、明るいか暗いかの見極めだけです。

214 田池留吉を思う瞑想。愛を思う瞑想。淡々と、そして肅々として実行です。そして、時間と空間を共有して学ぶチャンスがあれば、喜んでともに学びましよう。

ともに心をたつたひとつの真実、愛に向けていきましよう。

言葉も何も要らない。感じる心、真実の波動の世界を感じ響いてくることを、その肉を通して体験すれば必ずと分かってきます。

喜びは、喜びを大きくします。ただただ広がっていく。どこまでも限りなく広がっていく。この肉は幸せです。そんな波動の世界を垣間見ることができて、本当に幸せです。

心を向ける喜び、思える喜び。自分を大切にして、淡々と本来の仕事をしていきます。本当に出会いに感謝です。

233

ともに、ともに歩みを進めていける喜びだけをお伝えします。

私はあなたの中の喜びと温もり、田池留吉、アルバートの意識です。

本当の自分に目覚めていく道に今世出会い、そしてその道を淡々と計画通りに着実に進んでいく喜びを感じてください。

これより先、特に田池留吉が肉を離れたあと、この日本の国もさらに闇の中へ埋没していきます。そんな現象が日本国中から、毎日、毎日伝えられるでしょう。

しかし、あなたはそんなことに動じずに、ただただ自分の計画通りの仕事をなさってください。あなたが心に向けて瞑想をすれば、その波動、エネルギーは宇宙に流れていきます。愛のエネルギーを流す存在だとあなたの意識の世界は目覚めています。その目覚めをより多くの宇宙達に伝えていく喜びだけをあなたは、その肉を終えるまで、また肉を終えてからも感じていくでしょう。

あなたがするべきことはただひとつです。それは自分の心の針を向けて合わせていくことです。

そうしながら、あなたの肉の時間を過ごしていけばいいんです。

お金も健康も時間も、この学びを進めていくうえにおいて、申し分なく整っています。

そのことを喜びながら、あなたはあなたの計画を進めてください。

私、田池留吉、アルバートはいつもあなたに応えています。あなたの中で私は、これからのこと、そして様々な現象について、お伝えしていきます。その私の思いを波動として受け、それを言葉に変換していく作業を淡々と進めてください。

あなたはチャネラーだと、田池留吉の意識を本当に受けて、どんどん私の波動、エネルギーを流していけると、私は公然と認めています。

その私の思いを素直に受け取り、喜んで、喜んで、これからも私とともに歩いていってください。存在を確かなものとして、あなたの中は益々、広がっていくでしょう。その喜びと温もりの波動で、U T Aの輪の中で歩みとともに進めていく仲間達に接してください。

自ずと波動の違いを知っていくでしょう。それを心で知っていたただくために、今よりももう少しそれぞれレベルを上げていただく必要があります。つまり受け取る側の意識のレベルです。

私の意識の世界を知っていけばいくほどに、あなたの存在もまた今と格段に違って認識される方が出てくるでしょう。

もちろん、意識の世界には上下はありません。

ただ波動の違いはあります。それを心で本当に知って、あなたとともに私、田池留吉の世界を心で広げていっていただきたいと私は思っています。

それが次元移行を遂行していくために必要なことなんです。

私は、これから二五〇年、三〇〇年の時間を見つめています。

次元移行をしつかりと視野に入れて、U T Aの輪をお願いします。

心より、心よりありがとうございます。私と出会ってくれて、私を知ってくれて、本当にありがとうございます。心からありがとうございます。私は私の仕事をきちんとし終えて、この肉体を離していきます。肉体を離れた後のことは、あなたにすでに伝えていきます。どうぞ、日々、楽しみながら、ゆったりと静かに私のほうに心を向けて、その肉もまた楽しんでください。

あなたにはたくさん仲間がいます。あなたが心を向けていこうと呼び掛けて、どうぞ、その仲間達とともに、肉の人生を楽しく喜んで過ごしてください。私達の思いはひとつ。愛のエネルギーは宇宙に流れ続けています。その愛のエネルギーに触れ、自分の本当の姿に目覚めていける意識が、多く、多く出現できるよう、ともに仕事をしてまいります。

237 愛へ帰ろうと呼び掛けてくれている思いに、本当に真摯に喜びで向き合ってくださいませよう。

心の中に響いてくるはずです。その呼び掛けはあなたの中にあるんですから。もうそろそろ心から気付いてください。今世の出会いを心から大切にしてください。今世の出会いを次の転生に必ず活かしてください。

心の中の愛へ帰ろう。愛へ帰る道をもに歩いていこう。心を傾け、真摯に応えていませよう。

あなたの中の田池留吉にしっかりと心を向けてください。何を信じてきたのか。そして、今、何を信じているのか、何を頼りにしているのか。厳正にチェックしていきましょう。そして、速やかに正しい瞑想を。

240 心をしっかりと田池留吉に向けていきましょう。気付き、促しの現象がそれぞれに起こってきます。みんな、みんな真実に目覚めていくためのものです。

肉、形を本物としてきた心に強い、強い衝撃を起こさざるを得ないところまで来ています。

日々、本当に心から真剣に田池留吉、自分の中の愛を感じてまいります。今の肉を持って、真摯に素直に喜んで自分を見つめていくことを約束してきました。そして、本当の幸せ、本当の喜び、本当の温もりを心に復活させること、自分の中のたくさんの方に伝えていくこと、どうぞ、自分に自分が誓ってきた

思いを感じてください。

私、田池留吉は、あなたの心の中でいつも、いつも伝えています。

喜び、温もり、幸せ、あなたの中から尽きることなく湧いてきます。それがあなただから。その本当のあなたに出会っていきましょようと、私は、ひとつの肉を持つてきました。

本当は私は生まれる必要などなかったんです。しかし、私はこうして肉を持っています。これは意識の流れが厳然としてある証です。

田池留吉に心を向けること、心の針を限りなく合わせていくことを、私は伝えさせていただきました。

心をひとつにして、ともに歩める喜びを伝えています。波動で受けてください。

252 どんな時も、どんな状況の時も、ただ一点、田池留吉に心の針を向けて合わせていくこと、それだけです。

あなたがすることはそれだけです。そうすれば、あなたから波動が流れていきます。その波動が仕事をするんです。

たとえば、ワンポイントメッセージは波動です。波動として正しく受けてください、そのワンポイントメッセージは、その人の意識の世界にストレートに入っていきます。言葉ではありません。波動です。

その波動が、その人の意識の世界の中で仕事をしていきます。

みんな自分の本質に目覚めていこうという呼び掛けがなされていきます。

あとは、その自分の意識の世界の動きに、その人がどれだけ素直に真摯に向き合っているかということなのです。

波動は仕事をします。愛のエネルギーはきちんと仕事をしていきます。

しかも瞬間的です。その瞬間的ということ、実験を通して学んでください。

254 ふるさとの歌、歌っていますか。口ずさんでいますか。

ぜひ、ぜひ、歌ってください。効果絶大です。

田池留吉を思う瞑想、愛を思つて瞑想、そして、心が広がって、喜びを感じて、温もりを感じて、そして、ふるさとを歌えば、また心が広がって、優しさが感じられて、温もりが感じられて、田池留吉を思う瞑想が楽しくなります。宇宙を思いたくなります。どんどん、どんどん思いを向けたくなります。

瞑想は喜びです。思いを向けられる、思える、こんな幸せなことはないでしょう。私達のふるさと、愛へ帰る道、ただひたすら真つ直ぐに突き進んでいく喜びがあつたんです。

待つてくれていました。待ち続けてくれていました。

本当に嬉しい。本当にありがとう。

262 田池留吉の意識とともに存在している喜びだけが心に伝わってきます。響いてくるんです。心を向ければ、そう、私の心の中にはつきりと響いてきます。田池

留吉以外の何に心を向けるのでしょうか。瞑想をすればはつきりします。

ただただ伝わってくる温もりと喜び。田池留吉、アルバートと呼んでいます。苦しいから呼ぶのではなくて、嬉しいから呼ぶんです。呼べば、温もりが湧いてきます。喜びが湧いてきます。

あなたは、毎日、ふるさとを歌っていますか。自分達の本当のふるさとを思い、ふるさとの歌を歌っていますか。

田池留吉に心を向けて、ふるさとを歌ってください。愛を思つて歌ってください。田池留吉に心を向けることが本当に喜びとなってきます。思うことが喜びとなってきます。

263 九月、十二月のUTA会セミナーの勉強時間が短くなりましたが、勉強は時間の長短ではありません。中身の濃い勉強をしましょう。

何せ、0・1秒の学びなんです。瞬間、心の針を向け合わせていく喜びを味わっていけば、それはすごい時間と空間にいなわれていることを心から感じられるでしょう。

私達は愛です。田池留吉、アルバートに出会いたくて、出会いたくて、そして、今という時、それが現実のものとなって、自分の心に響き伝わってくる幸せの中にあることを、どうぞ、瞑想を通して満喫してください。

田池留吉を思えば喜び。宇宙を思えばただただ幸せ。嬉しい。

嬉しくて、嬉しくて、これからの時に思いを馳せれば、本当に幸せ、喜び、ありがとう。お母さん、ありがとう。

みんな、みんな、この思いを自分の中に思い出すことができるんです。どうぞ、心を広げて、広げていきましょう。

265 本当に愛のエネルギーを心で感じていけば、もう真っ直ぐに田池留吉です。田池留吉をただただ思うことが、どんなにすごいことなのかは、自分の心で分かってきます。

だから、田池留吉を思うことを知らない人、知っていても思えない人、思おうと思っても思えない人、みんな何も分かりません。何も分からないということは、地獄から出てきて、地獄へ帰る輪廻の中にあることに、何ら変わらないということなんです。

その輪廻を自分の中で解消しない限り、次元移行という意識の流れに乗れないんです。三〇〇年の猶予がありますが、三〇〇年なんてあつという間です。

頭はもういいんです。本当にもういいんです。心に向けて、心に響き伝わってくる温もり、優しさ、喜びだけです。それだけです。

ポーンと自分の枠組みを解き放していきましょう。小さな中で凝り固まっていることに、一日でも早く気付いてください。

266 愛はあなたの中のふるさと。ここへあなたの心の針を向けて、どんどん自分の中から沸き起こる喜びと温もりの世界を堪能してください。

私はあなたの中の田池留吉です。どうぞ、ともに、ともに帰れるこの道を、ただひたすら真っ直ぐに進んでいきましょう。

本当にありがとうございます。出会ってくださって本当にありがとうございます。

268 田池留吉の世界と通じる喜び、幸せを心にどんどん感じていきましょう。

思うは、田池留吉の世界です。愛です。私達のふるさと、愛です。

数知れない転生を経て、今、ようやく、今なんだと、実感してください。

そして、自分の本来あるべき姿を確認して、本来進むべき道を、自分の中で確立してください。

いつまでも宇宙に彷徨う状態ではと思います。しっかりと本当の自分の声を聞き、思いを受け取り、愛の中に帰っていきましょう。

帰ってきなさい、帰っておいでと伝えてくれた温もりに、何度も、何度も出会ってください。あなたの過去も未来もみんな待っています。

283 田池留吉を思うということが愛なんです。思えば愛が流れていく、そういう状態になるまで、しっかりと田池留吉を思えるようになっていきましょう。

愛を捨て去って、全く実体のないものをつかんでしまったことに、それぞれが心から気付くような計らいになっています。自分の中に意識の流れを感じてください。心で感じることをただただ喜んでいきましょう。

私は自分を自分ですごいと思っています。偉いとかそういうのではなく、すごいと思っています。そんなすごい自分をただ喜んでいきます。

これが私の決意してきたこと、決めてきたこと、約束してきたことでした。自分の決意も約束も絶対に反故ほごにしないと言えるほどに、心に感じるものは確かです。

田池留吉の世界にすべてを委ねる。全託する。

そんな言葉が帰路で浮かんできました。夜、瞑想をしたとき、そのほうに心を向けました。

本当に待って、待って、待ち侘びてきたんだと思いました。こうして、心に向けてることを待っていてくれたことを感じます。

思いを向けていくことがこんなにも優しいことなのかと感じました。

中へ、中へ思いを向けていくことを本当に忘れ去ってきたんだ、どんなに冷たかったのか、そう思える今が嬉しいです。

すべてを託していくこと、いけること、そんな世界が、そんな波動の世界があったということ、自分に響いてくるものを大切に、大切に育んでいきます。瞑想ができる環境にある、それは本当に喜びでした。

テーマ 「アルバート」

2 アルバートの波動と触れていたい。心の中がアルバートを呼んでいる。

アルバートを思う。アルバートに心に向ける。アルバートを呼ぶ。

ただただ嬉しい。アルバートの波動の中にあることを感じる。

ただただ嬉しいです。アルバートの波動を感じて、私の中は本当に嬉しいです。

アルバートを呼びかけた私に心向けます。

たくさんの宇宙達を心に感じている。そのどれもがみんなアルバートを呼びかけた。アルバートを探し求めてきた、そんな私を感じます。

私は、この一つの肉体を持ち、アルバートの波動と出会わせていただきました。そして、アルバートを呼ぶ喜びを心に感じています。

そんな私はたくさんの宇宙達に、アルバートに心に向けていきましょう。優しさ、温もり、喜び。アルバートを探し求めてきた私達でした。

そんなメッセージを送り続けています。

私達の中に優しさ、温もりがありました。お母さんの温もりです。

アルバートへ帰れる喜びは、私達の心の中にありました。アルバートを求めてきた。ただただ求めてきた。たくさんの、たくさんのエネルギーを心に秘めてきたけれど、そのすべてがアルバートを求めてきた。

アルバートを呼ぶ私の中に、そんな思いが伝わってきます。

アルバートへ心向けると、喜びだと伝わってきます。

ただただアルバートを呼びたい。アルバートを呼んでいける喜びを、心に広げていきます。

田池留吉の肉を通してアルバートの波動を感じてきました。田池留吉の肉がアルバートの波動を伝えてくれました。ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。

117 アルバートを呼ぶたくさんの意識達。無数の意識達。宇宙に思いを向けていけば、アルバートを呼ぶ無数の意識達があることを心に感じます。

そしてそれが嬉しい。一齐にアルバートを呼ぶ思い、エネルギーは宇宙に点在する意識達に流れていきます。

心からともにアルバートを呼んで、ともに帰る喜びを感じ合います。それが宇宙に向ける瞑想。宇宙に思いを馳せる、思いを向ける、心に受け止めていくことが、ただただ、ただただ嬉しいです。

こんな作業ができることが、私にはとても嬉しいのです。

必ず伝えると、必ず帰ろうと、だから肉体を持つてきたんです。

ひとつの肉体を持つことが、どういうことだったのか、今、私は、今のこの肉体を通して、実感しています。

こんなちっぽけな自分のこの肉のためだけに、東奔西走することがいかに愚かなことなのか、いかに冷たいことなのか、本当に自分をないがしろにして、愚弄

してきた数々の転生でした。

宇宙に心に向けて心に感じ響いてくる世界を通して、私は私の愚かさを学び、そしてまた喜びを学んでいます。

181 アルバートの波動

有馬勉強会に引き続き、樫原での勉強会も喜びで参加させていただきました。

とりわけアルバートの波動の勉強をさせていただいたこと、本当に嬉しかったです。

まさに肉を突き破って、私の中の宇宙達が喜びに湧いていることを感じさせていただきました。アルバートとともに、アルバートとともに突き進んでいく喜びでした。

すごいです。本当に千載一遇の出会い。田池留吉、アルバートの波動と出会わ

せていただき、すごいとしか言えません。

この意識の世界の真実を深めていける出会いをしつかりと、そして喜びで受けて、益々自分の中を感じていきます。

肉を持ち学ばせていただけること、最高に幸せです。

183 「意識の流れ アルバートとともに」の出版から一〇年近くになります。

増補改訂版では、このアルバートとともにという文言が削除されましたが、私は、まさに、意識の流れは、アルバートとともにと思っています。

もちろん、瞑想、正しい瞑想とは、内なる田池留吉に心の針を向けて合わせるということですが、そうしていくと、必ず、必ず、アルバートが出てきます。そして、宇宙を思い、宇宙を呼べば、お母さん、アルバート、愛が必ず出てきます。

私の中では、すでに、田池留吉と言えばアルバート、アルバートと言えば田池留吉、田池留吉の宇宙はアルバートの宇宙、アルバートの宇宙は田池留吉の宇宙

となっっています。

田池留吉の意識は、その肉を持って、アルバートの波動を伝えに来てくれたんです。このアルバートの波動を、全宇宙が待っていることを、私の意識の世界は知っています。だから、内なる田池留吉に心の針を向けて合わせていけば、必ずアルバートなんです。

意識の流れはアルバートとともに。田池留吉の意識は、アルバートの意識。田池留吉を思うことは、アルバートを思うこと。私は、そのように自分の中で結論付けています。だから、私の中では、田池留吉とアルバートを切り離すことはできません。田池留吉に心の針を向けて合わせるということは、アルバートを思うことなんです。

アルバートと呼ぶことが嬉しくて、田池留吉の異語はアルバートの波動を伝えてくれている、そして、母なる宇宙を伝えてくれている、だから、ただただ、田池留吉を思い、アルバートを思うことが喜びです。

184 私は、本当にアルバートの中で、アルバートの波動を喜び、愛だった私達のふるさとへ一歩、一歩着実に歩みを進めていく仲間達と、心を通じ合わせていきたいこう、いくんだという思いが強いです。

肉を持ち、こうしてともに学ぶ機会をいただいている友もそうです。そして、もちろん肉を持たないたくさんの仲間達もそうです。

異語と異語で通じ合い、分かり合い、ともに行きましよう喜び合える時間、空間を共有しながら、さらに真実の波動の世界を感じていくことは最高の幸せだと私は思っています。

厳然と、そして肅々と流れる意識の流れをしつかりと心で感じながら、自分の道を歩いていこうと思っています。

312 今、田池留吉、アルバートと心から呼べるのが本当に嬉しいです。

宇宙に思いを向けて、UFO達とともに、形のないUFO達とともに、アルバー

トを呼んでいける喜びを感じています。

本当に呼びたかった。本当に出会いたかった。心から突き上がってくる思いは、本当にこの時を待っていたんだということでした。

田池留吉は宇宙。アルバートは宇宙。本当にその宇宙へ帰れるんだという思いの中で、肉を持ったからこそ、こうして真実の波動の世界と出会えたという喜びと、肉を持ったがゆえに、自分を縛り続けてきたという愚かさが交錯します。

交錯して、自分の中が揺らぐのではなくて、それだけの長い、長い時間を要してきたけれど、ようやく、ようやく、やっど、やっどという思いが、込み上げてきて、そこには、ただただ嬉しい、ありがとうの思いしかないことが確認できるから、本当によかったと思っています。

本当にようやくなんです。この心からの思いを、しつかりと伝えていきます。ともに帰れることを力強く伝えていきます。

テーマ 「愛のエネルギー」

36 意識の世界は、一瞬思えば通じる世界です。一瞬にしてエネルギーが働く、そういうことを水道の蛇口、冷蔵庫等々を使って実験、体験してみませんかと提案していただきました。

楽しみながら、意識の世界、波動、エネルギーの存在を自分でそれなりに体験されればと思います。要は、そこから何を学んでいくか、その体験等々を自分のこれからのどのように活かしていくかということ。ただ変わった、びっくりしただけでは何とも物足りないです。

思うことはとても大切なことです。言い換えれば、自分の心の針がいつもどういう方向を指しているか、針の向け先の確認、チェックを心掛ける、そういうことが習慣化しているか、ということは、いつも学びを思い、学びの中に自分の生活があることを実感している状態なのか、どうなのかということになってきます。道具を使っての実験、意識を受ける作業等々、あんなこともこんなこともみんな、自分を本来の自分のルート、意識の流れに乗せていくための一環です。

意識の流れの中にある自分だとしっかりと心で確認して、その意識の流れの中にある自分を、いつも、いつも思い、その思いに沿って存在していく喜びであるとか幸せを、心から感じられるようになっていきましょう。

43 今、私はある場所にいます。ここは、私が主に瞑想をするときに使う場所です。愛のエネルギーを、各部屋の色々なところに注入するという作業をさせていただきました。愛を思い、エネルギーを注入しました。

今、この場所に意識を向けてみます。

私達は意識です。すべては意識です。愛のエネルギーをありがとう。ともに、ともに学んでいきます。ここであなたは瞑想を続けています。愛へ、愛へと瞑想をしています。とても喜びです。

私達、この部屋の置物、そして壁、天井、床、すべての意識達が喜んでいます。

ともに、ともに愛を思い瞑想を続けていきましょう。ありがとうございます。ありがとうございます。

私達は愛に目覚める意識である、その喜びをあなたの心の中から、エネルギーとして流し出してください。そして、私達は応えていきます。

宇宙に点在する意識達に、大いに、大いに、この愛のエネルギーを流していただける喜びを感じてまいります。

ありがとうございます。私達はこの部屋の意識。はい、ここにあるものすべて意識です。愛の波動に目覚めていく喜びを感じています。はい、ありがとうございます。愛のエネルギーをありがとうございます。私達も愛を流しています。私達は愛です。すべては愛です。

愛、愛、愛溢れる中で、瞑想を続けてください。喜び、喜びの瞑想、温もり溢れる、愛溢れる瞑想。愛のエネルギーは、宇宙へ流れていきます。ありがとうございます。

109

愛のエネルギーが注入された品物。どのくらいそのエネルギーがそこに留まっているのか。半永久的ではなさそうな。時間の経過とともに、そのエネルギーは薄くなり、消失していくのだと、常々私は思っていました。

愛のエネルギーが注入された品物。そのほうに心を向けて確かに色々な体験をされる方も増えてきました。そこには確かに愛のエネルギーが注入されているでしょう。しかし、それはそう半永久的なものではありません。

エネルギーは、おっしゃる通り、薄れてやがて消失していくような状態、それが現実です。だから、それらの品物を使うとき、絶えず田池留吉を思い、愛を思うということが大切なんです。

半永久的なものであるならば、知らず知らずのうちに田池留吉のほうに心を向けるということを忘れ去るといなのが、人間の常なのではないでしょうか。

愛のエネルギーが注入された品物が万能というものではありません。

その品物を使うときのあなたの心の向け先、心の針の向け先です。いついかなるときも何を思うか、どのようなところに心を向けているか、それが大切だということをお忘れなくください。

もつと言うならば、ただただ思う、ただ思うということ、このただ思うという、そのことがどれだけ重要であるか、大切であるか、それがすべてであるか、それを、肉を持っている間に学んでいってください。

不思議だ、ありがとう、驚きを感じて学びのほうに、心を向けていく一助になれるのもいいでしょう。しかし、やはり、肝心なことは、自分の心の針の向け先、思うということ、思うということがどれだけ自分の中で達成できているか、そのバロメーター、それを自分の中で確認していくことは、正しい瞑想でしかありません。

206 自分が出してきたエネルギーを心で感じてきましたか。感じていますか。

喜びを感じてきましたか。感じていますか。

瞑想は喜びとなっていますか。思えば嬉しいとなっていますか。

愛のエネルギーの存在を実感していますか。心で実感するということが最も望ましいことですが、その手前の目や鼻や皮膚等々の肉を通して実感してください。そして、それを是が非でも自分の意識の変革に活用してください。

思う喜び、思える喜び。思うことがすべてだ。人間って素晴らしい。愛を流せる存在だったんだ。宇宙の中で遅まきながらも、気付いていける私達に蘇っていきましよう。

227 円盤、噴霧器、その他、愛を思うことの一助として提供された様々な品物。純水、

水素水等々、確かに身体にいい作用をします。あとは、それを使う側の問題です。物質的な効果に、あとのどの程度、愛のエネルギーを注入してその効果を高めている

けるか、それはそれぞれ違います。

円盤、噴霧器等々、外観は同じでも、発するエネルギーは違う。それをいかに高めていけるか、愛のエネルギーと相通じていることを確認しながら、思う喜びと大切さを膨らませていく方向に、それらを使っていけばいいだけです。

しかし、最後はただ思うだけの作業で事足りません。思いは通じている。どこに通じているか、その確信があれば、本当に身軽に学べます。

239 「心の中の喜びも温もりもみんなあなたのものです。

そしてまた、心の中の闇もあなたのものです。

闇をどんどん喜びと温もりへ帰してやれるパワーがあなたの中にあります。それが愛のエネルギーです。

愛のエネルギーの中に自分があった、私は愛そのものだったと心に蘇らせていくことが、あなたが、今その肉を持ってなすべきたったひとつの仕事でした。」

私は、どなたの意識の世界にも、絶えず、このようなメッセージを送っています。しかし、殆どの方は、目に見える世界に忙しいので、自分の中の声に、思いを傾けることはしていません。

だから、突然の現象に我を忘れていきます。苦しいこと、悲しいこと、辛いこと、悔しいこと等々、形からすればマイナスの現象を、プラスに反転していく術を知りません。マイナスの現象はマイナスのまま心に留めていきます。

どんなに時間が経過しても、苦しみ、悲しみ、悔しさ等々から、自分の心を本当に自由に解き放つことはできません。

現象はマイナスでも、それをどのように自分の中でプラスに転じていくか、それは、自分の中の愛に帰っていくしかないのです。

そのノウハウを、今世学んでこられた方々は、本当に幸せな方達でしょう。自分の心の中の喜びと温もりを信じて、その世界が自分の本当の世界だった、日々、田池留吉を思う瞑想の中で、その信を深めていってください。

パツ・パツのエネルギー。

田池留吉を瞬間思い、対象物に思いを瞬間向ける。パツ・パツの体験、実験を重ねて、レベルアップ。

どれだけ田池留吉を信じているか。愛のエネルギーの存在を信じているか。愛のエネルギーの存在ということは、すなわち自分ということ。自分の存在が愛であるということ、心にしっかりと感じているかどうか、それがパツ・パツの実験、体験。

愛のエネルギーはすごいです。すべてを愛へ帰していくエネルギー。すべては愛の中にあつたことを知らしめるエネルギー。

それは本当に私達の根源的なもの。愛はすべてを、愛に、喜びに帰していきます。この喜びこそが本当の私達の姿。これこそが私達の本当の姿でした。その本当の姿を心でしっかりと感じて、私達はこの次元をあとにします。私達はそのように約束してきました。心から、心からありがとうございます。

テーマ 「意識の流れ」

1 たただただありがたいと思います。思いを馳せる、思いを向けることを知り、私は本当に幸せです。

肉はすべて整えられていました。肉の環境はすべて整えられていました。ただただ思う、思いを向けていけることが本当に幸せです。

肉も幸せとはこのことでした。自分の中が本当の道を歩いていることを知って、だからこそ肉も幸せでした。

ああ、今世の肉を通してようやく知り得たことが本当にありがたいです。

だから、瞑想をしても、ありがとうしか出てきません。私が私に伝えてい
る思いは、ただただありがたいです。

ああ、肉を持つてきてよかったです。肉を持たせていただいてありがとうございます。

10 二か月ほど前に意識を向けさせていただいた人の訃報に接し、自分の今ある時間を大切に、そして真摯に自分と向き合っているという思いを確認しました。

「人間って儂いなあ。今は充電時間と考えているけれど、どうやらそうではないのか。」そんなことをポツリと語りながら、その人もまた自分の意識の世界に思いをほんの少し向ける機会がありました。

何も知らずに、こういうことをするのが人生だと、人はみんな自分の価値基準、人生哲学で生きていこうとします。

人はみんなどうして母の温もりを忘れ去ってしまったのか、つくづく、しみじみ、今思っています。

だからこそ、なおさら、学びに集い、母の反省、ゼロ歳の瞑想、母の温もり、愛、そういう方向に心を向けてみてくださいといざなわれていることが、どんなに幸せであるのか感じます。

肉を持つ時間は限られています。しかし、その限られた時間から、無限の自分を思えるような今であることを、本当に心から喜びながら、今を大切にしていきたいでしょう。そして、今という一点がすべてであるということを知ってください。

53 「愛に帰る道を、こうして肉を持って学んできたんだ、過去からずっと。」

ようやく今世の肉を通して、そのことを自分に伝えることができ、その伝えたことに、自分の中が反応していくことが、ただただ嬉しい。ただただ幸せ。

愛に帰る道をまっしぐらに進んでいけるそんな自分達だったことが、心にどんどん響いてきます。

田池留吉の世界が肉を持つ今、私はしっかりと勉強を重ねて、できる限り、可能な限り、自分の中に吸収していける喜びだけがあります。

肉の無い時間、意識と意識の交信の中で、ともに歩みを進めていける喜びは、それはもちろん肉では推し量れないものです。

しかし、私の中は知っています。意識は知っています。

限りなく純粋な意識の世界に、永遠と近づいていける喜びだけがそこにあるんだ、本当に今世は私にとって大きな、そして、唯一のターニングポイントでした。

66 思うことが喜びで、思えることが喜びで、あと何がありますか。

望むことは何もありません。一日、一日、元気で機嫌よく過ごしていけば、勝手に道が開けていきます。

私達は、もともと幸せだったんですから。

影を影だと思えなくなってしまうから苦しみの人生が始まりました。

どんなに言葉を重ねても、間違い続けてきたんです。無知だったんです。そして、苦しみ、辛さ、悲しみ、空しさ等々の真っ暗な重い、重い、しかし、ちっぽけな世界に自分を閉じ込めて、その中に自分を押し潰してきただけのことです。

その哀れさ、愚かさ、冷たさに、一分、一秒でも早く気付いて、方向転換をするべきです。

仲るか反るかの勝負に今世の肉を持って出たという思いが、あなたにはあるでしょうか。

私にはあります。

私にとって、来世の肉を持つ時間は、まとめの時間であり、勝負は今のこの肉を持つ時間だという思いでやってきましたし、これからもやっていきます。勝負という言葉は適切ではないかもしれませんが、気持ちはそういうことです。

だから、肉はまだまだ無駄なことをたくさんしているようですが、私の軸足はぶれないです。ということ、まあそれもいいでしょうと楽しんでます。私が私を感じていく喜びを広げていってくれるならば、計画は滞りなく運ぶからです。

68 私達は愛に帰る、本当の自分に帰る道筋にあります。

これは絶対の真実です。このことをあなたの心で知ってください、感じてくださいということなんです。

本当に心で知っていけば、感じていけば、すべてが整っていたことはつぶさに感じられます。そして、みんな愛の中にあつた、もともと幸せ、喜び、温もりのエネルギーとして存在していたことが自分の心で分かります。

自分の心で分かるんです。自分の意識の世界でキャッチできるんです。

それを実感してください。そうすれば、人生すべては喜びです。

自分という存在は喜びだということが分かります。喜びの自分を苦しみの自分に変えていった愚かさ、無知を感じて、感じて、そして、そこから喜びの自分とともに存在していく道に、一分、一秒でも早く出会ってください。

99 過去に死んだ自分と語り、来世肉を持つてくる自分と語り、益々今世という時間、その橋渡しとして本当に重要なポイントでした。

私の中が一つになって、過去の自分から教えていただき、来世の自分から教えていただいている現実があります。

喜んで今を生きていくことが、明るい展望がさらにその明るさを増してくると、過去の私から、そして来世の私から伝わってきます。

過去の私はすべて失敗に終わりました。そして、来世の私は、その失敗を見事

に成功に導いていくことに間違いはありません。その転換期が今の肉です。

その手ごたえを自分の中で確認しながら、今の肉は、さらに学んでいくでしょう。来世の肉は何も持ちません。何も持てないようにしています。

自分の心ひとつで、喜びに邁進していく計画です。それは今世の下準備があるからです。意識の世界は緻密に計画されていることに、ただただ驚いています。

135 愛へ帰ろう。温もりへ帰ろう。喜びとともに。

ようやく、自分の中でこのメッセージを聞くことができた今世でした。

肉、形の中に真実はないということを、自分の中ではつきりと分かっていくのに、どれだけの時間を経てきたのか。

すべての苦しみの原因はそこにあつたと知って、そして自分の中が変わっていき、そこから見えてくるもの、感じてくるものによって、また自分の中を感じていくことを繰り返す。

私はそれを自分と自分の対話と表現してきましたが、どんなこともすべて自分の中で行われているんだということが、学びに触れ、学んでいく中ではつきりとしていきました。

自分は思いの世界に生きている。だから死んでも死なないんだ。思いを消滅させることはできない。思いは永遠と存在する。

だからこの思いの世界が変わっていかない限り、永遠に自分が分からないことになります。自分を苦しめているのは自分。喜びの自分を広げていくのも自分。

思うことが嬉しい。思えることが嬉しい。思えることが幸せ。ああ、本当にこんな人生があつたんだと、私は今の肉を通して、ようやく知り得ました。

172 「すべては真実の自分に目覚めるために。愛である自分に目覚めるために。」

今のこの肉体を持って、学びに触れ、学びを進めてきた時間を朝の半身浴でふと思いました。

上記のメッセージのシナリオを自分に用意してきた現実を思い起こし、形として現れ、それを促し、また形は消えていき、その中でそのメッセージは忠実に遂行されてきたんだと感じられます。

日々瞑想を重ねていけば、本当に意識の流れは何の狂いもなく流れていて、その中であつたことに気付いていくようになっていくことを感じます。

すごいと思いました。どんなに間違い続けてきても、どんなに苦しみ続けてきても、待ち続けて信じ続けている自分の存在に気付くように、気付くように自らを促している、そんなことが実感として心に響いてきます。

心の針を向けて合わせていく瞑想をしていけばそれでいい。それだけ。私は本当にそう思います。愛、宇宙、田池留吉、アルバート、お母さん、それが私のふるさとでした。私のふるさとを思い瞑想をするだけです。

185 日々、生活のリズムが一定していて、そして、ありがたいの思いが自然に出てくる生活。そんな時間が過ぎ去っていく中で、ただ思うは意識の流れ。宇宙と

もにある今を、喜んで、喜んで、ただひたすらに瞑想をします。

肉を本物として存在してきた転生の結果、ようやく宇宙という自分のふるさと、帰るべきふるさとを心に広げていける転生に出会いました。

宇宙を思うとき、私は本当に嬉しいのです。異語で語り合える時間がたまらなく嬉しい。肉という形を纏った私の中で、宇宙達の喜びがつぶさに感じられます。私達は、温もりと喜びが湧いて出てくる世界にあつたことを、確認しています。だから、瞑想は喜びだけです。

心に向けることが、どんなに素晴らしいことなのか、どんなにすごいことなのか。私の中の田池留吉、アルバートの意識とともに、この道を、ただひたすら真っ直ぐに前進あるのみです。

それが私の切望してきたこと。そして意識の流れの計画。愚かな肉を携え、よ

うやく自分の計画を知っていく時間となりました。ありがとうございます。

186 思いの世界に生きている、思いの世界にある私とともに生きている、と認識しているから、私は瞑想をしたくなるんです。

心を向ければ、必ず響いてくる世界があります。私は、その世界を大切に育んでいます。それは唯一信じられる世界です。その波動を感じ、広げ、さらに心に向けていくこと、それだけが喜び、幸せ、温もりと出会っていく方法なんだと思っています。

なぜ生まれてきたのかとか、人生の目的は本当に何だろうかとか、そして死を、誰しもが本当に真剣に考え思わなければならない時が、必ずやってきます。意識の流れの中にあることを心で感じていきましょう。愛に目覚めよという意識の流れは自分の心の中にあります。

187 人里離れた山奥に住まいしているわけではない。いいえ、その反対の街中の雑踏に、少し触れながら生活をしています。たくさんの見知らぬ人達と行き交います。一人ひとりが生活を抱えながら、自分の思いの世界に生きています。私もその中の一人です。ただ違うのは、私には自分の思いの世界に生きているという認識があることです。思いの世界にある私を感じ知っています。

その思いの世界にある私とともに生きていることを、最重要視しています。私は自分の中に心の針を向ける喜びと大切さを知っています。だから、街中の雑踏も、行き交う人達もみんな映像の中のことなんです。そこに自分の身を置きながらも、私は、ただ自分の思いの世界の中へ、中へ入り、喜びと温もりと幸せの自分と出会い、触れることができるというところから、肉、形の世界と、そんなものは何もない思いの世界の両方から、自分を知っていける今を喜んでいます。

194 日々の瞑想の中で、自分の思いをしっかりと確認しています。自分の中に伝わってくるメッセージ、すなわち自分が自分に伝えてくるものは、今という時、今、その肉体を持っているあなたがどんなに大切なものなのか、肉を携えて出会ったことがどんなにすごいことなのかというものです。それを、淡々とそして切々と繰り返し続けます。

自分の立てた計画を万が一にも頓挫することなく、きちんと遂行していく思いは、並々ならないものを感じます。それは、これまでにこの今の肉を通して、私自身、大きな深い喜びと温もり、真実の波動を感じてきたからなのだと思います。

すでに十数年前に、決して忘れることができないアルバートの波動に、私の意識の世界は触れました。

それからこれまで学びを進めてきて、田池留吉の肉を介して、私の肉を介して、真実の波動の世界に触れたことが、私の過去も未来もすべてを変えていくほどのエネルギー、パワーを発揮していったんだと感じています。

肉は何もできない。波動と出会えたことを喜んでいくだけです。それが意識の流れの計画なんだと、ただ喜んでいくだけです。

198 せめて、生まれてきたことに、産んでくれたことに、心の底からありがとう、本当に心の底からありがとうと、自分に限りなく優しく言えるようになります。それが学びの最低ラインです。

本当に自分に優しく、ただただ優しくなってください。自分の心の叫びを本当に聞いてあげられる自分にまずなってください。

自分では一生懸命に生きたつもりでも、あつという間に時間が過ぎ去り、訳が分からないうちに死んでいく人がごまんといます。今世、学びに集っている私達も、何度も、何度も嫌というほど、そういう転生を繰り返し返してきました。本当の自分を知らずに、偽物の自分に磨きをかけて、全く下らない時間を費やしてきたのです。いいえ、それどころか多大なるヘドロ、悪臭を垂れ流し放置してきたこ

とを全く知らずに存在してきました。これほど無知なものはありません。あなたはどれだけ、そのことに気付いておられるでしょうか。

204 心を向ける喜びを知って、心を向けていけば響き伝わる波動の世界を、繰り返し、何度も感じる事ができて、今、その喜びと温もりの中にある自分を実感できれば、あと何を望みますか。

暗い思い、エネルギーを優しさと温もりの中に包み入れていけば、そこから喜びのエネルギーが噴き出してくる体験を重ねてきた私達です。

今、その肉体を持って体験してきたお勉強を、しっかりと自分の中で継続し、そして、自分の意識の世界を繋いでいってください。

本当の自分、愛と出会うために数々の転生をしてきました。そのように今、心で感じられますか。あなたの今世、愛に帰る道に自分を乗せた転生という結果になるでしょうか。あなたの次の転生はどうですか。

215 自分がこれまで生きてきた今世の肉の時間を思ってみましょう。

父として、母として、一社会人、一家庭人として、たくさんエネルギーを放出してきました。形の世界しか知らなかった、信じられなかった残骸がたくさんあると思います。築いてきたもの、守るべきもの、失いたくないもの、それぞれにあると思います。

しかし、学びと出会い、学び始めました。学び続けています。

今、肉として生きてきた、費やしてきたエネルギーを本当にプラスとして受け取っていますか。それとも、まだブラック、マイナスのままでしょうか。

生まれてきた意味、人生の目的、正しく教えていただきました。自分の肉とともに、正しく学び、喜んで人生を全うしていきましょう。

218 最近、日本の国においても、起こってくる事件、事故の異様さが目立ちますが、次元移行へ突き進む三〇〇年の中で、現象界の濁流は、天変地異と相まって、益々

すごいものとなっていくでしょう。

それは意識の流れが厳然と、そして肅々と計画を遂行していくからです。形の世界は、本当に根底から音を立てて崩れていきます。人間の心の奥底に巣くうブラックのエネルギーが、凄まじい勢いで飛び出していきます。まさにそれは阿鼻叫喚あびきょうかんの世界でしょう。

しかし、そのもつと奥底にあった温もりと喜びの世界こそが、たった一つの真実だったと、必ず、必ず気付いていくように、愛のエネルギーは働いてまいります。私は、私達は、愛に帰るんです。今世、学びに触れた人達、どうぞ、しっかりと自分の中の愛に目覚め、私達のふるさとへ帰る道を歩いてまいります。道を極めていきましょう。どこまでも限りなく広がっていく無限の世界に、ただただ心の針を向けて合わせていきましょう。

223

学ぶということは、自分の心を見るということです。

自分の流すエネルギーの質を変換していくということです。

そのポイントを外していれば、学びを知っていても学んでいないことになりません。

エネルギーの質の変換といっても、それは肉ではできないことです。けれど、肉でできる、あることをしっかりとやっていけば、それがエネルギーの質の変換を可能にします。

真実、愛へ突き進むか、真実、愛からやはり遠く離れていくか、二つに一つのみ道だけです。

それは自己選択です。そして、その結果を自ら受けます。簡単明瞭。すべてが公平、平等。

225

愛を捨て去った間違いの転生を経てきました。本当にやっと、やっとなんです。どうぞ、自分の中のその思いに触れてみてください。どんなに狂い続けても、苦しみ続けても、それがやっと、愛だった、みんな、みんな愛だったんだ、心でしっかりと感じてみてください。心で受けてみてください。本当に嬉しいですよ。

波動、真実の波動の世界を感じてまいりましょう。感じていける、実感できるように、自分の歩みを一步前へ進めてください。

私達はエネルギー。愛の中に一つのエネルギーでした。

100

232

心で学んだことを、しっかりと自分のこれからに繋いでいくことに違いはないと、私は自分の中で確信しています。

瞑想をすれば、二五〇年、三〇〇年という意識の流れの計画が心に響き、絶対にこの流れを自分の中で遂行していくんだという思いが湧いて出てきます。だから、瞑想は喜びだけです。すべてが今にひとつの自分の世界だったと心で感じます。

ただただ、ただただ、田池留吉の肉と出会い、その世界、アルバートの世界、その波動を心で感じられることが、どんなに私の中が待っていたことか、つぶさに感じられる、それは、瞑想でしか分からないことです。

しっかりと田池留吉に心に向けていけば、どなたも自分の心に響き伝わってきます。

101

私達は愛です。私はいつもそのメッセージを波動としてあなたの中から流しています。すべては愛の存在なんです。愛でないものなんてありません。ただ、肉、形を本物としていては、この波動の世界が分からないんです。それほど私達の心は闇と化してしまった、そう言っても決して過言ではありません。

このことをいつ信じていけるか、これから様々な現象を通して、皆さんの前にしっかりと提示していきます。

愛でないものは一切ありません。どんなに形が崩れ去っても、そこでどんなに

人々の心が泣き叫んだ状態であっても、すべては愛。愛しか存在しないことを今一度、お伝えします。

いいえ、何度も伝えていきます。愛しか存在しないんです。

238 田池留吉、アルバート。心の中に思いを向けます。

ありがとうございます。ただただ、ただただ喜んで、喜んで、存在してまいりましょう。

私達は愛です。愛から出て愛へ帰っていくこの意識の流れを、今世、私は一つの肉を持って伝えさせていただきました。

波動の世界、真実の波動の世界を伝えさせていただきました。心の中に田池留吉、アルバートを呼ぶ幸せと喜びを温もりの波動の中で、伝えさせていただきました。私に心に向けて幸せでしょう。心の針を向けて合わせて、私の波動と語っていくことが、どんなに幸せであるか、喜びであるか、あなたの心に、私は、いつもメッ

セージを伝えています。

だから、私から離れていく、心を私から離れていくことが、どういうことか、それで幸せ喜びの道を歩いていくことは全く不可能なんです。

学びに触れ、学びを去った人もいます。学びに触れ、学びを離し、また学んでいる人もいます。学んでいる格好だけの人もいます。

私は去る者追わずです。自分の本当の姿を知らずにきたのに、今世、せっかくのチャンスに恵まれながら、自らそれを捨て去ってしまうことがどういうことなのか、いつかはその人達も、自分の中で気付けるチャンスがあるかもしれないですが、それは気の遠くなるような時間を経なければならぬでしょう。

皆さん、簡単に考えているんです。真実の世界、波動の世界をないがしろにしてきた心癖、それを修正していくことは、そんなに容易いことはありません。

243 すべては喜びに帰る、愛に帰る、そう自分の中に響いてくる幸せと喜び。

瞑想はただただ、ただただ喜びです。喜びも色々な形態があります。その時、その時の心の響き具合はあります。

飛び跳ねたいほどの喜び、じわじわ、じわじわ心に染み渡っていく喜び、何とも言えない温もり、優しさ、温かさを感じて本当にそうだった、そうだったと頷いていける喜び等々。

そして、それらに共通して言えるのは、もう何にも要らない、この心、この感じ広げているこの世界が私なんだ、ここさえしっかりきちんと見つめていけばいいんだという思いが出てくるということです。

だから、喜びが確信となって、確信が喜びをさらに大きく深めていくことになるという大変良い循環を自分の中に作っていけるんです。

田池留吉、アルバートの波動に瞬間的に応えていける喜びは最高に幸せなものです。

自分の中の流れを変えていきましょう。意識の流れから遠ざかっている連鎖を、どこかで断ち切る勇氣、決断が必要です。

249 心を、ただただ田池留吉のほうに向けて、そして喜び、ありがとうの時間を重ねていってください。重ねていけるように学びを進めてください。

いつまでも、ちっぽけなことにとらわれずに、もっと自分を大切にしていきましょう。本当にすべきこと、本当に自分が望んできたことは何だったのでしょうか。するべきこと、望んできたことが分からずじまいで、人生を閉じていく人が殆どです。

何も無い、ただ思いの世界に存在している自分と真剣に向かい合って、自分の心の声をひたすら拾っていきましょう。

人間の心は、形の世界の産物では到底癒されません。根本的な解決にはなりません。自分の中の愛に目覚めていく、自分が愛だったと目覚めていく以外に何も

ありません。

いつ、どんなタイミングでそうなっていくのか、あるいはそうならないのか、それはみんなそれぞれの問題です。

ただし、そういうこととは関係なく、意識の流れの計画は粛々として遂行されています。

260 私は、これから一〇年、二〇年……と意識の流れの中から、世の中という濁流

を見させてもらい、意識の世界の学びを進めていきます。

そして、二五〇年後に生まれてくるまでの間、生まれてきてからと、自分の中の計画をしっかりと推し進めていきます。

田池留吉を思い瞑想をしたとき、宇宙を思い瞑想をしたとき、その一連の流れが心に響いてきます。

皆さんもそれぞれに、学びの自己評価をされていると思います。学びの成果を検証しながら、それぞれの次の転生に必ず繋いでいけるよう、自己確立の道打ち立ててください。その心意気で、自分に用意してきた今世の時間、大切にしていきましょう。

276 私達はみんな自分との固い約束を交わしてきました。その約束を果たしていくために、こうして生まれてくるんですが、なかなか、なかなかその約束をしたことを思い出せずの転生でした。

今世こそ、自分と交わした固い約束をまず思い出してください。固い約束をしてきたんですよと言われても、自分の中でそれを思い出せてこそ、実感が湧いてくるんです。

ああそうだったと心からなってくれば、あとはその約束を果たしていこうとします。約束とはそれほどのものだからです。指きりげんまん……ではないけれど、それは、本当に固い約束でした。

285

檀原、有馬、京都、池田、箕面とセミナーが予定されています。雄琴のUTAの輪を考慮してのそれらのセミナーです。

私達は、本当にたくさんの学ぶチャンスを用意してきました。自らを変えていくことを心に誓ってきたことをしっかりと思い起こし、今、肉を持って学べる喜びを味わってください。

一人ひとりが愛へ帰る道にあることを、自分の中でしっかりと感じてください。そして、次の転生に繋ぐことに専念してください。

凄まじいエネルギーを蓄えてきたのはみんなに共通のことです。例外はありません。しかし、いつまでも抵抗勢力を野放しにしているのは、自分との約束を違えることとなります。本気で真剣に愛を捨ててきた自分を愛に帰してください。

289

自分の本来戻るべきところ、帰るべき場所を特定できることが、唯一自分が生まれてきた理由でした。

肉という形を持って、濁流とも知らずに泳ぎ切ることをこの上もない幸せとしてきた過去。当然それが満たされなければ無残な失敗の人生でした。

と思ってきたんです。本当に何の疑いもなくそう思ってきた。

今の肉を通して、ようやく濁流の中にながら、それに沈まず流されずにあつた本来の流れを知りました。自分の戻るところをきちんと定めたことが、大きな大きな成果だと言えます。

だから、最後の肉を持って、自分の中で総仕上げをしていく計画です。私は本当に嬉しいです。長い転生の軌道を変えることができたからです。本当に今世を境にです。出会いがあったからです。本当にありがとうございました。

318

泣けてきます。涙が溢れ出てきます。嬉しいですよ。本当に嬉しいですよ。

こんな時を迎えられることが本当に嬉しいですよ。

それもこれもみんな、こうして、肉を持ったからです。母に肉体をいただいた

からです。私は本当に嬉しい。思える喜びを感じています。思う喜び。田池留吉、アルバートと呼べる喜びです。

心の叫びはみんな喜びでした。温もりと出会えて、帰るべきところを知って、本当にそれは、それはすごいことでした。

ただ、その一方で感じるがあります。宇宙の藻屑。

せっかくこうして今世、お母さんに産んでもらって、学びに集っているのに未だに……という思いです。本当にもつたいないと思います。いいえ、もつたいないというか、切ない気がします。

しかし、意識の流れに思いを馳せれば、そういうことは微々たるものだけということを感じ、宇宙の計画はすこぶる順調だと感じます。それだけでよかったんです。だからただ心を向けていくだけです。宇宙とともにある喜びを感じていくだけです。そこにはありがとう、嬉しいとしか返ってきません。

324

「宇宙が動く。愛のエネルギーの中で宇宙が動いていく喜びが、これからの時を経て体験できるんです。ともに、ともに次元を超えていく壮大な計画の中で、どこまでも限りなく広がっていく存在でした。」

もつとも、こんなことは、非現実だと一笑に付されるのが現実です。それよりも金。それよりも健康。そして、目先の幸せ、欲にとらわれる心は、神を心から離せません。そんな中でみんなが幸せに、豊かに、平和に、を願う。祈る。それが残念ながら現実です。全く哀れな中に存在しています。しかし、肉を持たなかったならば、真実の波動の世界とは永遠に出会えなかったということも現実の話です。

「なぜ生まれてきたのか。」

学びに触れた人、一人ひとりが自分の中に問いかけ、自分の中から答えを引き出していくことを真剣に、真摯にやってください。

「死ねば、ひとりです。」

332 もうすでに明暗がくつきり、はつきりとしてきていますが、これからさらにそれらの差が大きく開いていくだろうと思います。

明るさはさらに明るさを増し、暗さはさらに暗くなっていくということです。それは、喜びが、喜びのエネルギーが大きくなっていくからです。

愛のエネルギーはあまねく宇宙に流れ出す、宇宙が動く、という表現をしましたが、ああ、それは決して大袈裟な表現でもなく、そしてまた非現実なものでもないことを、ご自分の心で感じてみてください。

田池留吉、本当にすごいです。姿を見て、話を聞いてとは、全然全く違う。しかし、向ける喜び、感じる喜びは、そこに肉があったからこそ知り得たことでした。本当にありがとうございます。こんな出会いを本当にありがとうございました。

337 愛に帰る道があることをしっかりと示されただけから、その道を自分の中で見つけることが、それぞれの仕事です。

いつまでも狂い、彷徨い、苦しみ続けていくのか、本来の自分、温もりと喜びに満たされた中にあることを知って、さらにその道を精進していくのか、ふたつにひとつです。

自分が自分を苦しませ、自分が自分を狂わせ続けている現状を、いつ本当に心で分かってくかということでしょう。

苦しい、辛い、寂しい、悲しい、悔しい、認めろと思いのたけを吐き出すのはいいことです。しかし、それは自分が間違ってきたからだ、そして今も間違っているんだと、しっかりと知っていかなくてはならないでしょう。叫びながら、自分の中の温もり、優しさを知っていく、感じていくというようになっていかないうちに、いつまでも、どこまでも、苦しみ続け、彷徨い続け、狂い続けていくことになりません。

誰も救ってくれません。誰も何とかしてくれません。救う力、何とかする力はみんな自分が持っています。それが愛のパワーです。

341

真実からずれた心は、いずれ近い将来必ず現象化してきます。学びに集っていても学んでいないことの証明を自らに示していくのです。

しかし、みんな愛です。愛でないものは存在しないです。

ただ、そういう事態になってからでは、このことに心から気づき、軌道修正していくことが難しいのも現実です。

それでも、すべてが愛だから、愛しか存在しないのだから、苦しみ、悩み、絶望しながらも、愛に目覚めていくしか道はないのです。

愛へ帰ろう。ともに愛へ帰ろう。この呼び掛けは、さらに、さらに、スピードを増してすべての意識達に気づきを、促しを与えていきます。

二〇年余り学ばせていただいたことを基礎として、土台として、私は宇宙に向けて歩んでいきます。粛々と次元移行を遂行していく意識の流れを、いつも心に思いながら、私達はひとつと発信していきます。

346

自分がどの程度学びを信じ、愛に目覚めていく道歩いていこうとしているかを問われる局面を、それぞれに迎えるでしょう。それは瞬間的なものです。自分の心が選び取っていくことに嘘はつけません。みんな自分の中は知っています。そして、たとえば本当の自分の思いに反した思いをまたしても出して自滅していても、本当の自分はその自分をいつまでも、どこまでも信じて待っているでしょう。

母の温もりの中にあつた、愛の中にあつた、自分の中に愛があつたと、本当に心から気付くまで、宇宙の藻屑になろうとも、いつの日にかその愛の中に帰ってくると待ち続けている本当の自分は決して消滅はしなないです。

しかし、やはり、ともに帰ろうと呼び掛けのあるこのチャンスを、可能な限り活かしていただきたいと思います。

数え切れない転生を重ね、染みついてしまった汚れを落としていくことは、大変なことですが、それだけに、やっていけば、喜びはひとしおです。

テーマ 「千載一遇」

144 自分のことで恐縮ですが、私は学び始めてから、その都度、勉強の中で提示された課題というか宿題を、自分なりにすべてこなしてきたという思いを持っています。

学び始めてから二〇数年の年月を経ていますが、その間、こうしてくださいますように、ああしてみても、色々な方面から、学びの中で提示されてきたことは、自分なりにやってきましたと言ってもいいでしょう。

その結果、今の私の現状を思うと、それは、やはりみんな、適切かつ大いに効果を発揮してきたと言えます。

だから、二〇年も学んで、今、自分が幸せだと思えないような人がもしあれば、それは不思議というよりも、その人に尋ねてみたいです。あなたはどんなふうに学んでこられたのですかと。

肉に埋没してきた私達に、簡単明瞭に伝えてくれた田池留吉氏でした。確かに最初のうちは、何が何だか分からずに、もっと分かりやすく教えてくれという思いもありましたが、それは、全く自分の不勉強でした。最も分かりやすく簡単に言うてくれていました。

まだ自分の道が見えずに心がすっきりとしない方は、今からでももちろん遅くはありません。

禪ふんとしをしめ直して、まず提示されたことを、素直に、一つひとつ当たってみてください。一度きりの人生とは全くのデタラメですが、今世は、あなたにとって千載一遇のチャンスというのは嘘偽りはありません。

168 今世の田池留吉との出会いを千載一遇のチャンスとしてとらえ、その通りに自分の歩みを進けてきましたか。そんな自分の道が見えていますか。

その確認をして、さらに確信を深めていくことが、今現在、あなたの喜びとなり、あなたの幸せになっていますか。

そうなっていれば、肉のことなど程々にしていても、すべて整った状態の中に

あるはずです。取り立てて、何も言うことはないし、何も要らないと思います。欲しいもの、必要なものは、みんな手に入るでしょう。

私の肉の望みは、死ぬまで元気に瞑想三昧の時間を過ごすということだから、そういう生活を続けていくのに、そんなにお金は要りません。

いわゆる、4 K。金、神、権力、健康が肉の壁。

その肉の壁、特に金、神、権力については、完全に取っ払わなくては、宇宙を思い、愛を思う、まさに豊かな人生が広がっていくわけはありません。学びの真似ことはできません。しかし、今世を自分の次の転生に繋ぐということについて、そんなに生易しいものではないことを、この辺りで再確認してみてください。

ましてや、田池留吉との出会いがあったにも拘らずに、学びの真似ごとすらしていない人達、本当にどうするのでしょうか。ご一考ください。

174 千載一遇の出会いを本当にありがとうございました。

この出会いがなければ、私はまだまだ苦しい転生を繰り返していたでしょう。次元移行などもつての外のことでした。

しかし、私は出会わせていただきました。そして、この出会いを千載一遇の出会いとしてとらえ、このチャンスを活かし、私は、今、こうして、田池留吉に心に向ける瞑想を重ねています。心に向けられる喜びを感じ広げる日々です。

宇宙と思えば、心の底から突き上がってくるエネルギーがあります。すべては喜びでした。すべては温もりでした。それらの意識達は、この道を田池留吉、アルバートとともにただひたすら歩いていくと語ってきます。

異語とともに涙が溢れ出てきます。異語を発することがただただ嬉しい。瞑想はすごいです。思うということはずいです。すごいことを伝えていただき、本当にありがとうございました。思いを向けていくことだけに専念です。

220

三十三歳で学びの門を叩き、それから二〇年余り。もう決して若くはない。この肉を持つ残りの時間、精一杯、自分に誠実に真摯にありたいという思いが瞑想の中で繰り返し上がってきます。

決して外せない今世でした。ただ一点、自分の心の針の向け先を確認して、自分を大切に自分の予定通りのコースを遂行していくと、これも瞑想をするたびに確認の思いが上がってきます。

「誰のために生きるのでもなし。自分のために生きなさい。」心からそう伝えてくれる己の思いに従って、これからも学んでまいります。色々な形を通して、学びの真髄に触れていけることを喜んでいきます。

出会いがすべて。千載一遇の出会い。今世もそして来世も、この喜びをかみしめていくでしょう。

245

「喜びで、喜びで、ともに喜びのこの道を進んでいきましょう。」

人類の歴史の中で、初めて、本当に初めてたったひとつの真実の道が指し示されました。

私達の本当に進むべき道、そこには愛しかなかった。そこには喜びと温もりしかなかった。母の意識の中で私達は、何度も、何度もその波動を伝えていたのだに、それを自分の中に伝えることができませんでした。瞑想の中でその愚かさがひしひしと伝わってくるけれど、それもみんな喜びでした。こうして待つてくれていた優しさで温もり、本当の自分の思いに触れていけば、みんな喜びでした。もう絶対に道を間違えずに、ただひたすら自分の前に広がっている道を進んでいくだけですと伝わってきます。

思いを向けることが喜びです。田池留吉と呼べることが喜びです。呼べば応えてくれます。ともにありますと。心を向けていればいいんですと。

あなたは、今世の出会いを本当に喜んでいきますか。千載一遇の出会いだと心か

ら思っていますか。

私の中にはその思いが響き伝わってくるんです。だから、どんなに肉が愚かであつても、下らない肉の思いに自分を見失うことはありません。

286 無条件に自分が自分に受け入れてもらっている、この思いに、あなたはどの程度触れているでしょうか。それとも、まだこのことが信じられませんか。

捨て去つても、捨て去つても、無条件に受け止めてくれている、くれていた。凄まじいエネルギーを確認するたびに、その喜びと温もりが心に広がっていくでしょう。そんな瞑想を重ねていけば、本当に今という時がどんな時なのか、千載一遇の出会いだったと、心が叫ぶことでしょう。

338 冷たく凝り固まつてしまった心、いびつに歪みねじ曲がつてしまった心、それらの心は、ある特殊な特定の人達だけのことではありません。

愛を捨てた心は、おしなべてそういう状態です。

柔らかく温かく、そして真つ直ぐに伸びやかになつていこうと生まれてきたはずなのに、願ひ空しくということを繰り返してきたんです。

真実はどこにあるのかと、本当の自分の思いと出会うことがこんなにも難しかった、いいえ、本当の自分の思いに素直になることがこんなにも難しかったということ、しみじみ感じさせていただきながら、だからこそ今という時が本当に嬉しいと心に染み渡ります。

瞑想で確認することは、いつもただひとつだけです。

それは、この千載一遇のチャンスをしつかりと活かして、自分を大切に、絶対に自分を裏切らないことです。自分の中の喜び、温もり、広がり、田池留吉、アルバートを思う、母を思う、愛を思う、ただこの一点だけを確認しながら、私の瞑想は続きます。

学びを知って学ばせていただいていることを喜んでいる人は多いと思います。

しかし、そのあなたの一步、いいえ、あなたの半歩でもいいです、あなたの歩みを前に進めていって、今世を終えてください。

まだまだ、まだまだ、真実の核心に触れていない人が多いのも現実です。

千載一遇のチャンスであると、自分の心でしっかりとはつきりと感じ、自分のこれからを見つけてください。

自分の次の転生に必ず繋ぐ、それを肝に銘じながら、学びを進めていきましょう。

私達は、愛の中にあります。私達は愛です。愛の自分に目覚めるために、今があることを知ってください。

94 セミナーがあるからセミナーに参加する、そういう姿勢でセミナーに臨むのは止めにしましょう。

というか、セミナーに参加することが学ぶということではないのだから、惰性で漫然とセミナーに参加しても仕方がありません。

ということ、最近は何人数のセミナーが開かれています。本当にやっているという人、集まれます。

もちろん、ピックアップされた方ができた人達というわけではありません。まずは手軽なところから始めているのでしょう。

波及効果を視野に入れています。学びの本筋に少しでも触れ、それをできるだけ真つ直ぐに、その人達に繋がる人達に伝わっていければということだと思います。

各地域、それぞれの場所で、仲間達と学んでいくとき、波動ということをしつかりと踏まえていかなければということ、です。

みんな敏感です。みんなチャネラーです。そこで問題となるのは波動でしょう。そういうことをしつかりと学んでいくために、自宅学習を重ね、セミナーに参加してください。自己確立の道を打ち立ててください。

98 本当の自分とは何ですか。本当の自分はどこにありますか。

本当の自分を知っていますか。存在を確認していますか。信じていますか。その度合いはどの程度ですか。

自分のこれからが見えていますか。自分の展望は明るいですか。暗いですか。肉体を持っている間、何をしていますか。

今、心に引つかかることはありませんか。棘とげのようにチクチク痛みますか。心を残すようなことですか。

今、一番関心があることは何ですか。何か望むことはありませんか。

今、幸せですか。生きてきてよかったと思えますか。生きていくのは大変だと

思いますか。

まだまだ色々な問いかけがあると思います。どんどん自分に問い掛けて、そして返ってくるものから、また自分の学びを進めてください。

自分と自分の中の対話。自分と自分のお勉強。自己確立の中でこそ、本来の自分の姿が、現状が、はつきりとしてくるのではないのでしょうか。そして、また、一步、自分を進めていけばいいのではないのでしょうか。

105 それぞれに自分の課題はあると思いますが、基本的には喜びです。

喜びの中で自分を知っていく、真実の世界を知っていく流れがあるんだということは事実であり、はつきりとしています。

そのところ、自分の心で感じ知っていくことがベストであり、そうなってくれば、何のことはない、自分の一步をどんどん進めていくことがすべてなんだと自然と分かってきます。

しかし、そういうところが、まだ自分の中でしっくりといていなくても、冒頭のところを大前提にして、前向きに生きていくことが望まれると思います。

ただ、基本は喜び。そして自己選択、自己責任。その柱は私の中では揺らがなものであるから、それをベースに私も自分の課題とともに、さらに成長、進化していきます。そのためこうして肉を持って、そして出会いがあったのだから。

123 心を向ける、心の針を合わせる、これ一本なんです。

あなたは、この一本で学んでいける目処がついていますか。そのような現状ですか。それしかないことを確信している段階でしょうか。

死ねば何もないんだから、死ねば自分の思いの世界があるだけで、思いをどこに合わせて向けていけばいいのか、自分の中に確たるものがなければ、本当に哀れなものだと、私は日々の瞑想の中で学んでいます。それは現実問題として、私の中に大いに響いてきます。

生きていても死んでいても、同じでなければダメなんです。

生きていて思えることは、死んでからも思えなくては、意味がありません。死んで固まった状態ならば、過去と同じです。それでは今世の意味がありません。と私の中は伝えてきます。

ただひたすら思うことをやっていきましょう。その向け先、針の合わせ先、自分の中で精査していくことが、何よりも、何よりも大切なことなんだと私は知っています。

知っているから、身体は年相応に元気で体力があって、頭もある程度動かしていくことも、必要なことだと思っています。

だから、水素水も飲んでいるし、水素風呂にも入っているし、サプリメントも活用し、暴飲暴食は避け、生活のリズムを一定にするように心掛けています。しかし、それもこれも、心に向ける、心の針を合わせる、これ一本の道を滞りなく進めていくためのものです。

枝葉的などころに流されない。主流をしつかりと見つめていく姿勢は私の中で確立しています。

127 田池留吉を思う瞑想、喜びとなっていますか。温もりがどんどん響いてきますか。幸せがどんどん伝わってきますか。

今の時間と空間、どうぞ、どうぞ大切に感じていきましょう。精一杯、可能な限り、喜びに繋いでいきましょう。

思う喜びと考える喜びです。自分の心で体験し、体験したものを信じていき、また瞑想を試みる。そして体験する。信じる。何度も繰り返し試みて、体験していくことが、自己確立へと繋がっていきます。要は自己確立がなければいざれどこかに流れていき、そして再び沈んでいきます。

そうならないように、自分に誠実に優しく存在していきましょう。生まれてきた目的を頭で知ったのだから、それを心で実践していきましょう。

それには、瞑想の継続、習慣化が絶対条件です。そして、何を思うか、どこに心を向けているか、この精査も絶対条件です。ただ目を閉じていればいいというものではありません。

目的意識をしつかり持って、めりはりの付いた学び方をしてください。結果を出すということですが。結果が出ないのは、学ぶ動機が違っているし、自分の学び方そのものに欠陥があるのです。

あと、どのくらい時間がありますか。本当の喜びの人生と出会ってください。

129 意識の転回をしていく以外に何もありません。

どんなに不思議な体験を、肉を通して重ねたとしても、それが意識の転回にそのまま繋がっていくかどうかは、明言を避けるのが妥当でしょう。それほど肉基盤の思いがこびりついていると認識してください。

セミナー会場等で学び体験したことを、自分のところ、たとえば生活の場とか、要は自分の中に持ち帰り、自分の中で学んでいく態勢を整えていくことが何よりも重要だと私は思うんです。

自分の中で学んでいく態勢というのは、いかに正しい瞑想ができる態勢となっているか、という一語に尽きると思います。いわゆる自己確立。自分の本質をどの程度見極めているか。

長く学んできた方達は、今の時期、こういう態勢にすでになっていなければと、私は私の中から伝わってくるんです。それは私が設定したハードルの高さからそのように伝わってくることもありませんが、二〇年以上、多い人で三〇年以上の年月が経った、その間、何度セミナーがあったのか、そして、今も様々な方面から学びの本質に触れていくような計らいがされている等々のことを総合的に考慮すれば、当然に引き出されてくる結論だと思います。

しかし、現実はどうもそうではなさそうです。

正しい瞑想。数え切れない転生の中、自分の本質を見失ったままやり過ぎて

きたのだから、心の針を向けることもままならないのが本当のところではないでしょうか。

向けて合わせていくということを、あまりにも軽く、簡単にとらえているふしがあるように思います。おざなりな学び方しかできていない人が多いのではないのでしょうか。

だから、あと残される手段は、天変地異しかありません。天変地異と言っても色々あります。要は、自分の中がガラリと様変わりすることに繋がっていくような現象です。

第一步を踏み出していくために用意している大きな出来事。もちろん、誰でも彼でも、それを愛としてとらえていきませんが、愛と受け止め、自分を学んでいける人は、本当の喜びと幸せに出会っていきけると思います。

150 私は自分の中の温もりを知っています。それが本当の私だと知っています。心で知っています。だから、どんなに凄まじいエネルギーを自分の肉体を通して表現することがあっても、もうそれで自分を狂わせていくことはないし、何の恐怖も不安もありません。

むしろ、その逆です。どんどん、どんどん、エネルギーを解き放つことが、さらに自分の中の温もりと喜びを大きく深く広げていくんだから、これほどの喜びはないということなんです。

自己確立を目指して、七月、九月、十二月のUTA会に臨んでください。自分の道は、自分で修復、修正して、正しいルートに乗せていく以外にないんです。本当の優しさ、愛に目覚めてください。宇宙は待っています。あなたの中の宇宙とともに次元を超えていってください。

異語で語り合うことをやってみましょう。異語ですべての宇宙に彷徨う意識達に語り掛ける優しさを育んでいってください。

私達は形ではありません。今、形を持つているだけです。形のない私達がなぜ、今、形を持つているのか、田池留吉を思い、宇宙を思う日々の瞑想より心で知っていただく。

158 今世生まれ来てきて、そして何らかのルートで学びに繋がったけれど、それを精

一杯、真摯に活かし切れずに死んでいく人達もあるかもしれません。あるでしょう。致し方のないことだと思えますが、自分のことは自分で始末をつける、自己選択自己責任の中で、私はしっかりと自分を見つめていこうと思っています。

自分に用意した時間の中で、心の針の向け先を確認し、自分の中に戻る、帰れる喜びを確認していれば、意識の流れのルートを外れることはないという確信のもとに、肉ある今があります。

次元移行という意識の流れを伝えに来てくれたから、それをしっかりと受け止めて、喜んで、喜んで存在していただけたんだと心に伝わってきます。瞑想の喜

びです。瞑想の確かさです。何を信じていくのか。このことを信じられる今があることがただ喜びだと、私はそう心に感じています。

私の勉強として、昨日、身体の左側に激しい痛みを感じ苦しんでいる人に意識を向けました。本当に哀れでした。形はどんなに立派でも、心の中の神を信じて私は死んでいきますと語っていたことが本当に哀れでした。

心を閉ざしたまま死んでしまうのかと語り掛けましたが、固く閉ざされたままでした。そんな現実を一方でしっかりと心に受け止め、私は私の歩みを着実に進めてまいります。

188 よく耳にする話があります。

「もし、この学びをしていなかったならば、今頃、私は、私達夫婦は、親子はどうなっていたらだろうか。」

私は不思議とそういう思いを抱いたことはないように思います。

それよりも、学ばざるを得ないというか、学ぶようになっていくということ、強く感じてきました。

もし学びをしていなかったらばとか、もし学びに出会わなかったらばとかという仮定的な思いはなく、必ず学びに繋がり、学び、自己変革をするということでした。

瞑想をしていけば、そういう自分の思いに触れます。

相当の決意、強い決意、私は自分をそう表現しました。中の私の思いを、瞑想で感じるたびに、その思いが私を引導してきた、牽引してきたことを確認できます。そして、もうひとつ。瞑想をして強く感じ、確認していることは、自己確立です。要は自己確立をきちんと会得しなければ、二五〇年後の来世も、次元移行の計画も、絵に描いた餅になってしまいます。

それほど意識の世界は厳格だということを、私は、瞑想をして感じています。それでも、私は、はっきりと自分に言えます。私は、二五〇年後の計画も、

三〇〇年後の計画もきちんと遂行していきますと。それほどの思いを抱えて、私は、今世、肉を持ってきましたと。そして、二五〇年後に再び肉を持ってきますと。決して絵に描いた餅にはなりません。

193 心の針を自分の中に向けてる生き方、存在の仕方が、本当の生き方、存在の仕方だというのは、学んでいる人達であるならばみんな知っています。ただ、本当に価値基準が肉ではないんだとなっているかどうかは不透明です。基盤を変える、根こそぎ変える、それはやはり難しいでしょう。それなりに学んでいるというのではだめです。それを、今年後半、そして来年前半にかけて、ある程度人数を絞って集中的に学んでいきます。

同時に、UTAの輪という学びの場が設定されます。参加されてともに学んでいかれるのも、そうでないのも、全部自己選択、自己責任です。

要は、自己確立のもとで学んでいきますという姿勢で、しっかりとこれからの

自分を知っていく喜びの方向に一步、自分の歩みを進めていってください。

自分の中の優しさ、温もり、喜び、広がりを感じて、信じて、信じていく意識達とともに異語を語り、響き合っていると思います。肉を持っている、持っていない、関係はありません。ただただ喜びを共有し、次元移行を果たしていく確かな手ごたえを感じ合いたいと思っています。

自分のこれからをしつかりと心で分かり、そんな自分とともに存在していける喜びを感じ合える時間と空間を持ちたいと思います。

211 今日から三日、また喜びで素晴らしい学びの時間と空間をいただきます。

どうぞ、ともに心に向けていきましょう。

素直、やる気、真剣、真面目。どれも肉のことですが、これを欠いては、どんな心が敏感であろうと、意識をどんなに受信しても、自分の意識の世界の変革に正しく繋がっていく確率は低いでしょう。

効果的な学びになってこそ、同じところをグルグル回っているだけです。それは平面的なんです。

効果的な学びは、同じところを回っていても、立体的になってきます。つまりその歩みは山を登っていきます。それは、滑降という危険と背中合わせかもしれませんが、見える風景が違ってくるし、澄んだ空気を吸って、また一步を着実に歩める喜びが活力になっていくのではないのでしょうか。

一步を踏み出す。基礎を固めたら一步を踏み出す。前へ前へ歩みを進めていくことが大事です。

216 どんなことも基本です。基本、基礎です。そこが揺らぎがなく真つ直ぐで純粹であることが何よりも大切であり、それしかないでしょう。

本当に自分の声を聞いているか、自分の思いに素直で真摯であるか、絶えず、基本、基礎を確認しながら、絶対評価のもとで存在していくことは忘れてはなら

ないことです。

自分は思いの世界に生きている、その世界が本当の自分と繋がっていることが、実感できなければということです。

自己確立は最大の愛です。自分が自分に目覚めていくと言えば、おおごと大事のように聞こえますが、ごくごく自然なんです。ただそう思えないほど、間違い続けてきたんです。自分を見失ってきたというのは大罪です。

247 自分の心を見て、自分の出すエネルギーを知って、間違ってきた自分のエネルギーの質を変えていくように、変えていくように仕向けている自分の中の愛に目覚める。目覚めれば、思うだけでそのエネルギーは仕事をしていく。そうして数限りない意識達とともに、次元を超えていく計画をしっかりと遂行していく。

そのルートが自分の中ではつきりと確立していることを自己確立と言います。自己確立の度合いがどの程度かということでしょう。

そこをポイントとして、自分の学びのとらえ方、姿勢をそれぞれに評価してください。

274 受けていけば受けた程度の結果が出てくるし、そうでなければそうでない結果が出てきます。どうぞ、今世こそは自分を裏切らないようにしていきましょう。身も心もゆつたりと、しかし思いをただ一点に合わせて、今、学べる喜びを味わっていきましょう。そして、自己確立の大切さを確認してください。

心を広げていくのも自分、心を落としていくのも自分です。いつも、いつも、心の中の愛、自分のふるさとを思っていきましょう。思えば出会えるんです。自分の中にしっかりとあるんですから。

どうぞ、次の自分の転生に繋いでいくように、今世の時間、大切に、大切にしてください。

愛へ帰る道がすでに見えている人は、自分のペースで喜びながら、楽しみながら、しかし真剣に自分の予定のコースをこなしていつてください。心に向ける喜びをすでに知っているわけだから、すっと思いを向ければそこに広がっていく世界があるでしょう。こんな幸せな人生はなかったと喜んで、喜んで今という時を堪能していきましよう。

その一方で、いまだ自分の道が……という人もまだまだいらっしやると思いますが。しかし、だからと言ってそんなことで落ち込んでいる暇などありません。ただひたすらに自分の道を確立することに専念してください。

みんな、今世、肉を離す最後の最後の瞬間まで、自分を見捨てないように。こんな恵まれた転生はこれまでに一度もなかったはずですよ。

テーマ 「UTAの輪」

3 UTAの輪の核・愛に向けて瞑想をしましょう。

瞑想ができるようになりましょう。

私はUTAの輪の核・愛に思いを向けて瞑想を続けています。
瞑想が変わってきました。

私達はこの肉ではありません。肉がなくても、温もりに心を向けられるか、温もりを思えるか、その一点です。

死んだら、肉体をなくしたら、何にも思えず、ただ固まっていくしかなければ、今の人生、失敗です。瞑想で心に響いてきます。

死んだあとの世界には何もありません。ただ自分の心があるだけです。

5 UTAの輪の核・愛に思いを向けました。

私達は愛の意識。愛のエネルギー。UTAの輪は、さらに、さらに発信してま

います。愛へ帰る私達の思いは、さらに、さらに、宇宙へ愛を発信していくでしょう。

心の中に、田池留吉、アルバート、母なる宇宙を呼び起こしましょう。

愛は私達でした。私達は愛でした。愛のエネルギーが、すべてを変えてまいります。

この地球上、そして全宇宙に、私達は愛のエネルギーを発信してまいります。心の中に私達はありました。心の中にありました。私達は心の中にありました。この心の中に愛、愛溢れる私達がありました。私達は喜びです。喜びです。ありがとうございます。

30 もちろん、肉ある田池留吉とともに学びを進めていけることは喜びです。しかし、

私は、肉なき田池留吉とともに学びを進めていく喜びも確信しています。

それは瞑想です。目を閉じて心を向ける、合わせる。その喜びと温もり、愛の

エネルギーの中に一つという意識の世界の中で、ともに存在している感覚を、今、こうして自分の中で確認する瞑想。

この瞑想の積み重ね、瞑想の継続、瞑想の日常化、これから一年、二年、三年……と、UTAの輪の中で、私は確実に宇宙へ向けて、次元移行へ向けて、ともにともに進んでいく喜びを味わっていくでしょう。

肉なき田池留吉と、UTAの輪の中で、ともに愛のエネルギーを発信していく喜びが、私の心の中に響いてきます。

ああ、私は幸せです。宇宙を呼べる私は幸せです。宇宙とともに存在していることが幸せです。

思う喜び、思える喜び、自分の中でしっかりと、しっかりと育んでいきます。何度も、何度も体験できることを確認しながら。

31 UTAの輪の中で、さらに、自分の意識の世界が大きくなっていくように思います。さらに広がり、愛のエネルギーを、さらにしっかりと発信していけるような、そんな楽しみ、嬉しさを感じます。

もちろん、UTAの輪から離れていく人達も出てきます。

しかし、私は、心を感じる波動、エネルギーをそのまま、そのまま流していくだけです。田池留吉、アルバートの波動、愛のエネルギーを、自分の肉を通して、その質を変えずに、そのまま、そのまま発信していきます。

それが私の喜びだから。それは、私の来世に繋げていくためには欠かせないものだから。それが意識の流れの中の計画だから。

私は、意識の流れに忠実に存在していきます。そういうことを感じた今日の瞑想でした。

178 生活水準もバラバラで、価値基準も色々あって、人生に対する満足度もかなりの開きがあるのが、形の世界のお話です。形の世界には、公平、平等など存在しないし、だから恨み節をうなってもどうなるものでもなく、みんなが一樣に、幸せと喜びの人生を享受できるなんていうことはあり得ないことです。光が当たれば影ができます。

だからというわけでもありませんが、そういうところでうろろしないで、そういうところは程々に流して、もっと自分発見にエネルギーを注いでいきましょう。

その術を伝授していただいたのだから、それぞれに残された時間、大いに本当の幸せと喜びの時間を満喫していきましょう。それが自分発見なんです。自分をどんどん開拓し、自分をどんどん発見し、どんどん喜びと幸せ、温もりに満たされていきましょう。

みんなが一樣に、幸せと喜びの人生を享受できるのは、これしかありません。あなたも、そういう中にひとつだと思える喜びを堪能していきませんか。喜びの輪に入ってきてませんか。

228 学びに出会い、セミナーにずっと通い続けられた環境を感謝します。

そして、今、少人数セミナーで、UTAの輪へ繋いでいく足掛かりとなる時間と空間を用意していただいています。

UTAの輪の中で、心をひとつにして、ただただ田池留吉を思い、宇宙を思い、肉持つ者も持たない者も、ともに、ともに愛へ帰ろうと、そのメッセージを波動として流していくことに専念していきましょう。そんな自分達に蘇っていきましょう。

今世、こうして、時を同じくして肉を持ち、学びに出会わせていただきました。今世のこの出会いを千載一遇のチャンスだと、自分の中で知って、ともに歩みを進めてまいります。

田池留吉を思う瞑想をしていきましょう。田池留吉に心を向けられるようになっていきましょう。思えば嬉しい。ただただ嬉しい。そんな自分の意識の世界を復活させていきましょう。

230 もうお分かりのように、少人数セミナーは、U T Aの輪を念頭に置いていきます。欲だけで、少人数セミナーに参加しても、その効果は薄いです。今月終わりからの有馬のセミナーで一応一巡しました。

九月のU T A会セミナーを経て、さらにレベルアップを目指しています。レベルアップというのは、信の強さ、深さ、温もりの度合い、喜びの大きさ、広がり等々、すべては次元移行を遂行していくことに効果を発揮することに繋がっていかなければ意味をなしません。

意識の流れは粛々として流れています。宇宙は確実に次元移行へ向けて進んでいます。その意識の流れとともに、ともに宇宙へ思いを向けられる喜び、優しさ、力強さ、波動として、エネルギーとして、ともにあることを感じられる意識、それが本当の友です。U T Aの輪はそういう友達とともに、始動していきます。どうぞ、自己確立、よろしく願います。

256 U T Aの輪が、徐々にその動きを始めていますが、私の中ではまだ具体的にどのようなにしていけばいいのかということが上がってきていないように思いますが。

大丈夫です。私に心の針を向けて合わせていったときに、あなたのその肉体を通して、心の中から愛のエネルギーを流していきます。そのエネルギーが仕事をしていくことを伝えました。

あなたの頭は何もできません。あなたの肉体は、ただそのエネルギーを正確にしっかりと伝えるだけです。そこに存在している喜びだけをお伝えください。

波動、エネルギーの中にあなたはあります。その波動、エネルギーをしっかりと

と心でキャッチできるあなただからこそ、UTAの輪を引っ張っていけるんです。あなたを中心に、UTAの輪は回ってまいります。

そこに、我一番という思いの人達が出てくるかと思いますが、それは気にせずに、あなたの心に広がっている世界を、ただただお伝えください。

やがて、その人達もまた、自分達の間違いに気付き、私達の流れの中に乗っていくような方向になるでしょう。

しかし、皆さん、それぞれ己がとても偉いです。我一番の世界、宗教の世界を自分の中に広げてきました。

脱神、脱仏、年内にと掲げましたが、不可能に近いことを私は感じています。しかし、その中でも、愛へ、愛へ帰ろうとする、田池留吉、アルバートともに歩いていこうとする呼び掛けは、宇宙から起こってまいります。

その宇宙達とともに、田池留吉、アルバートのメッセージを、田池留吉、アルバートの波動でお伝えください。あなたは、それができるんです。

私達はひとつ、ひとつの中で喜んでいきましょう。愛へ帰る道を一步、一步、歩いていきましょう。ただただ、そのメッセージを、波動として、エネルギーとして流していくのです。そうすれば、あなたの周りには、大きな、大きな輪ができてくるでしょう

あなたを中心に、UTAの輪の中で、喜びを共有できる喜びの意識達が目覚めてまいります。

肉を持つ者、持たない者、関係ありません。

ただただ、あなたは、田池留吉、アルバートとともに歩いてまいります。歩いていくんです。私達は限らない喜びの中にあります。そのメッセージを波動として流していく、それがあなたの仕事です。

あなたは肉を持つても、持っていないなくても、ただただ、その仕事をこれから、ずっと、ずっと続けていくんです。それが、あなたがあなたに約束してきたこと。

その約束通りに、あなたが歩いてくださることが、宇宙を変えていく大きな原

動力となります。

私、田池留吉、アルバートはこのメッセージをあなたに送ります。

257 UTAの輪へ移行

ともに帰ろう、ふるさとへ。この思いを強く深く確認しながら、UTAの輪に集う意識達とともに、田池留吉、アルバートの世界を広げていきます。

私達は、田池留吉の世界を、今世、肉を持って初めて学ばせていただきました。愛に帰る道、愛に帰りましょうと真つ直ぐに呼び掛けてくれた温もり、喜びを、自分達の心の中に呼び起こし、そして、大切に育んでいきましょう。

UTAの輪の集まりは、そういう喜びをともに喜び、さらに自分達の歩みを喜びでともに前に進めていきましょうというものです。

神、仏、宇宙のパワーを心に握ったままでは、意識の流れに乗ることはできません。そこから自分を解き放していく喜び。その喜びは自分の中にあっただんです。

それを、一日でも早く知ってください。

330 すべては波動の世界です。こうして肉を持ち波動の世界と出会っていることに、

ただただ、ただただありがとうございます。

UFO達に思いを向ける、UFO達を呼ぶ、ありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございますが返ってきます。

私は本当に嬉しい。本当に嬉しい。この次元の中で、田池留吉、アルバートの意識と出会わせていただいて、本当にありがとうございます。

池田のセミナーから帰宅して、家で瞑想をしても、そのときの思いが心に湧いて出てきます。ああ、UTAの輪のスタートなんだと思います。

ともに、田池留吉、アルバートの意識とともに、UTAの輪の中で、意識の流れの中で、ともに進んでいく喜びです。

思えば通じる喜びを心に広げ深めながら、着実な一歩を進めていくだけです。

333 先日池田のセミナーで、愛は生きている、生成発展するという話がありました。UTAの輪のほうに思いを向けると、UTAの輪もまた生成発展していくというメッセージが来ました。

田池留吉の意識が肉を持っているとき、そして肉を置いてから、私達は、その意識の世界と交信しながら、UTAの輪の中でも、ともに学ばせていただけるんだと、瞑想の中で確認しています。

ありがとうございます。私は、自分の計画通りに遂行していきます。自分の計画とは、もちろん意識の流れの計画です。私の中の愛が、今世の目標を計画したのだから、それにただ心を合わせていくだけです。

そうすれば、この肉がある間、ない間、そして二五〇年後の肉を持つとき、どう存在していくのか、自ずと決まっていきます。

もうそういうところまで次元移行への流れ、意識の計画は進んでいるのだと感じています。

349 これから、UTAの輪に集ってこられる人達もあるでしょうが、大半の方は、田池留吉氏のものですでに学びをされてきました。

それをどのように自分のこれからに活用しているか、学びの結果を出しているか、出しつつあるか、それとも未だに旧態依然のままなのか、それは各々様々です。

UTAの輪は、本人の申し出があれば、特段の事情がある場合を除き、それを受けて、一応全部登録されているはずですが。

ですが、UTAの輪で強調させていただくことは、自己確立の道を歩くということです。これまで以上に、そこを強調して、それを目指して、ではそれにはどうしていけばいいのかと、素直に真摯にともに学んでいく方達と、歩みを進めていきたいと思っています。

私にはたくさんの学びの友がいます。一番を競い、我こそはというのではなく、ともに、愛へ帰る道を喜んで進んでいこうという仲間達です。

もちろん、私は自分の中の田池留吉、アルバートの波動の世界に心の針を合わ

せていったとき、今はそうであっても、そういう仲間達の中に、その波動と合わない波動で迫ってこられたときは、私は、即座にUTAの輪を後にします。そして、真実の波動の世界を心で感じ共鳴できる仲間達と、学びの時間と空間を持っています。

そういう思いで、私は、これからの時間、肉を離すまで精一杯学び、そして二五〇年、三〇〇年に向けていきます。来世の構図はすでにでき上がっていますので、喜んで、しかし真摯に歩みを進めていきます。

350 「UTAの輪の中でもとに学ぼう」というタイトルのホームページを立ち上げました。

いずれ、UTAブックさんのほうからリンクできるようにしたいと思います、その節は、どうぞ、よろしくお願いします。

アドレスは <http://www.uta0309.com/> です。

ホームページを通して、そして、セミナーを通して、ともに学ぶ機会を喜んでいきますよう。

田池留吉、アルバートの意識の中で、愛の中で、ともに学べる喜びと幸せを満喫していきますよう。

テーマ 「天変地異」

41 日々、淡々と心を見る。そして喜び、喜びで生活をして、素直に真剣に瞑想の時間を持ち、自分の死後を感じていく。

このようにして、自然災害を含む天変地異の転機を自分に活かす準備を着々と整えていきましょう。

天変地異は必然的に起こり、そしてそれが最大のチャンスです。

瞬間的に心の針を合わす訓練。楽しみながら、しかし、真剣に習慣化してください。

正しい方向に心に向けていけばいくほどに、エネルギーのすごさ、大きさ、強さ、温かさ、厚みが増し、どこまでも広がっていく世界にある自分だったと感じていきます。そして、それはただただ喜び、喜びです。

いつも、自分の中に戻り、自分の中の喜び、温もり、優しさと対話し、そこから自分の歩みを、絶えず進めていきましょう。

その術を学ぶために、今の肉体があり、今、学ぶ時間と空間を用意しているんです。最大限に活用していきましょう。
愛のエネルギーを堰き止めず、流してください。

42 水道水も、一枚のティッシュも、一枚の万札も、0・1秒で愛のエネルギーが注入でき、その状態が変わるのに、人間の意識の世界は、0・1秒でなぜ変わらないのでしょうか。

0・1秒で変わるならば、人間の意識の世界は、どんどん、どんどん愛に目覚めていくはず。それがなぜそうならないのでしょうか。

特に肉を持つ意識は、肉という思いがとても強いんです。肉体という形を持って、形ある世界の中で、何度も、何度も転生を繰り返してきました。

その中で、自分が肉という思いの中で生活をして、そこで無知とエゴと欲のエネルギーを、どんどん、どんどん蓄え、そのエネルギーは、心の中に本当に堆高うずたか

く積み上げられた状態が、これまで、気の遠くなるような時間、続いてきたんです。それは、想像を絶するほどの凄まじいエネルギーです。そのエネルギーを0・1秒で愛のエネルギーに変えていくことはとても、とても至難の業です。もちろん、不可能ではありません。不可能ではありませんし、ならないのではありませんが、それほど肉という思いが強いんだとご理解ください。

ただ、今も申し上げた通り、不可能ではないんです。

愛に目覚めた意識、本当に愛のエネルギーに触れ、愛に目覚めていけば、その愛のエネルギーは、0・1秒の仕事をします。つまり、その愛のエネルギー、パワーは、さらに自分の心の中のブラックのエネルギーを愛に目覚めさせていきます。そのパワーはすごいんです。その喜びたるや、すごいものです。その喜びのエネルギーがさらに、自分の中を目覚めさせる仕事で、0・1秒の速さなんです。その体験をされれば鬼に金棒だとお分かりでしょう。

優しさ、温もり、喜び、愛のパワーは、とてもとても想像を絶するものがあります。

そこでその0・1秒の速さで、愛に帰るのを手助けするのが、天変地異の現象なんだということ、ここで付け加えておきます。

天変地異は喜びで必然的に起こってきます。愛に目覚めた意識が0・1秒の速さで起こしていきます。本当にすごい現象です。まさに宇宙的規模の天変地異ということです。

50 どんどん学んでいく方は学んでいくし、落ちていく方は落ちていきます。

すべては自己選択、自己責任。

喜びにいざなっていくか、苦しみに沈んでいくか、すべては自分の中にあります。自分の舵取りはみんな自分でしなければなりません。いいえ、できるんです。

どんどん学んでいく方には、このことは、はつきりと分かります。

一方、落ちていく方には、自分を自分で落としているから、そう言われれば、突き離された、冷たいと感じます。だからさらに自分を落としていきます。悪循

環です。その悪循環をどこで断ち切るか、それもすべて自分の問題です。こうなつてくると、益々冷たく聞こえます。

冷たく聞こえるのは、自分が冷たいからなんだとは分かりません。自分が冷たいととらえずに、言った相手が冷たいと思つてしまいます。その思う心は、いったい何を信じている心なのでしょう。その方は、自分というものをどのように感じているのでしょうか。

徹底的に、自分と向き合つていく決意がなければ、真実の道、愛へ帰る道は歩いていけないという自覚が、あなたにはあるのでしょうか。

生半可な思いでは愛には帰れない。だから想像を絶する天変地異が待っているんです。

62 みんなそれぞれに愛へ帰る道を行こうとしています。

スムーズに行っている人もあれば、そうでない人、そんな道があることさえま

だ知らない人、気付いていない人、様々です。

様々ですが、中の意識達はみんな必死になつて愛へ帰る道を行こうとしています。それはみんなに共通のことです。みんなとは、学びに触れている、いないに問わず、肉を持つている、持っていないに関わらずということ。なぜならば、愛へ帰る道、愛に戻る道しかないからです。それ以外に何もありません。

みんな愛。愛の中に存在していることに気が付けば、喜んで、喜んで、ただ本来の自分に、愛に目覚めていく、そして、さらに目覚めさせていくように自分をいざなつていきます。

だからすべてよしなんです。すべてがプラスなんです。マイナスなんて存在しない。マイナスはプラスでした。

肉、形から見れば、そんなことは絶対に思えません。マイナスはマイナス。マイナスとプラスは違う。それが肉基準の見方、とらえ方でした。

それを徹底的に自分に伝えてくれるものが、これから起こってくる天変地異というエネルギーでしょう。天変地異はこれからです。二五〇年に至る時間、激震の時間です。

67 水だけではありません。太陽の光も、熱も、空気も、みんなエネルギーです。愛のエネルギーです。そして、もちろん私達も愛のエネルギーです。

愛だった自分を捨て去っても、愛の自分は確かにここに存在しているんです。愛は捨て去ることなどできないことを学ぶために、今、肉という形を持って存在しています。ただ、自分は愛でしたということに、肉を持つ意識は、なかなか到達できないだけです。それほど肉の壁は強固なもの、堅固なものだと言えるでしょう。

その証拠に、0.1秒の意識の世界の驚きと感動を体験しても、次の瞬間、肉に戻っていくという現実があるのではないのでしょうか。哀しいかな、それは否定できない現実でしょう。

では、その肉に戻っていくスピードを少しでも緩めていくには、どうすればいいのでしょうか。それは、それぞれ自分の心の中に回答がありますから、その回答を自分の中で聞いて、自分は愛でしたという方向に、少しでも自分を進めていきましよう。

そうすれば、天変地異のエネルギーがどういふものなのか、正しく理解できるはずです。まさに愛のエネルギーの最たるもの、そのように伝わってくるはずですよ。そして、次元移行は天変地異とともに、こんな思いがずっと心から流れていくでしょう。

114 家庭内暴力、虐待、差別、貧困、戦争、戦争……。

明けても暮れても闘いの日々。心の中の葛藤から、武器弾薬、爆弾を引っ提げて人を殺す。神の名のもとに。正義の名のもとに。

大規模な天変地異が自分達の生命と財産を奪っていくと、天を呪い、神を呪い、その一方で神、仏に縋りつく。助ける、救え、この窮状を何とかしろと訴えていく。誰一人、自分の心を見てもきませんでした。誰一人、自分の流してきたエネルギーのすごさを知りませんでした。

これが私達人間の歴史でした。

まだまだ闘いのエネルギーは留まることを知りません。まだまだ闘って、闘って、完膚なきまでに、闘い続けていく時間が流れていきます。

しかし、そのそれらのエネルギーは本当にちっぽけなものだったことが、まもなく、まもなく、はつきりと示されていきます。

その流れを心を感じたならば、さらにしっかりと心を見て、さらにしっかりと、心の針を向けて合わせていきましょう。

大切な、大切な、何よりも大切なことを伝えていただきました。

175 愛のエネルギーが田池留吉という形を持って、三次元にいる私達に私達の本当

の姿、愛というものを伝えに来てくれました。そして、次元移行という意識の流れを伝えに来てくれました。

意識の流れに思いを馳せるとき、キーワードに、次元移行という四文字と天変地異という四文字があります。そして、もうひとつ、私には、日本沈没という四文字が浮かんできます。

もちろん、天変地異は、世界各地でこれからも起こってきます。地球は生きています。地殻変動、海水温上昇等々で、陸地が沈み、また新たな陸地が現れていきます。その中のひとつの現象が日本列島沈没という現象です。

地球上の小さな島国、日本に肉を持って伝えに来てくれて、そして私達もまた肉を持って学ばせていただいたことから、この日本列島に思いを向け、喜びで、沈んでいく日本列島の思いを受けていきましょう。

とりあえず、あなたが今、生活をしている場の意識を受けてみてください。そ

うしたとき、あなたの心の中にどんな思いが出てくるか、天変地異のエネルギーをもっと身近に感じ、意識の流れに思いを馳せていきましょう。田池留吉の世界、宇宙の波動をどんどん心に受けていきましょう。

私もまた、私が今生活している上町台地の意識を聞いていきます。もちろん、これまでにも、私は上町台地に意識を向けてきました。そして、これからはさらに喜びで、喜びで上町台地と語りたいと思います。

その過程で、今世、このアマテラスの国、日本に肉を持って転生してきたこと、田池留吉の意識と出会わせていただき学びを進めてきたこと、あと少し、田池留吉の肉とともに、縁のある場所で学んでいけることを喜びで受け、田池留吉の世界、田池留吉の宇宙の波動をさらに深く感じてまいります。

272 山が噴火する一報をテレビで見ながら、まだまだ序の口だと心に上がっていました。

もちろん、もくもくと噴煙を上げる様を見ながら、喜びだ、喜びだ、喜びのエネルギーが噴き上がってくることは心に響いてきますが、私の心には、それよりももっと、もっと待ち望んでいる光景が浮かび上がってくるんです。

やはり、山の噴火と言えば、霊峰富士の山でしょう。そびえ立ったあの美しい姿が、ものの見事にその姿を変えていくのです。

それまで、色々な場所での前兆とも言うべき現象があります。今回の噴火もそうです。大変な時を迎えますが、それもすべて意識の流れの計画のひとつです。

その瞬間、心をどこへ向けるか、何を思うか、ただそれだけが問われます。

もちろん、山の噴火に限定ではありません。自然災害を含むある日突然の現象、それぞれの心の根底を揺さぶるそれぞれの現象、すべて愛のエネルギーです。

異常現象しかり、人間の異様な行動しかり、目を覆いたくなる、耳を塞ぎたくなる、阿鼻叫喚あびきょうかんの現象が待っています。

テーマ 「二五〇年後」

私は今、まだ肉体を持っていないけれど、二五〇年後の私です。

私は、今、心の中にアルバートを呼んでいます。私達の心の中にあつたふるさとへ帰ろうと、私はこの喜びをずっと、ずっと待ち続けてきました。

二五〇年前、私はひとつの肉体を持ち、ようやく、この喜びの道を自分の中に見出し、そして、今に至っています。

私の境遇はとても苦しかったです。しかし、それもみんな、みんなこの喜び、温もりの世界を心に広げるためでした。

私は、今とても幸せです。ああ、この肉体をいただいたことを、本当に喜んでいる私があります。

ああ、この肉体は、すべて愛に帰るために用意されていました。

心を繋いで、繋いで、繋いで、二五〇年前の私から、今の私へ、ようやく、ようやく、

しつかりとした足取りで、宇宙達とともに次元を超えていく道が目の前に広がっています。私達の心の中の喜びは、爆発しそうです。ありがとうございます。こんなに幸せでよかったのでしょうか。

私の過去すべてが一斉に喜びに目覚めて、今、私はその思いを心いっぱいに広げています。

たくさんのありがとう、喜びを胸に私達は次元を超え、再び、この地球上には転生してきません。

ともに、約束してきた私の仲間達。その喜びが私の心の中に広がっています。

私達は愛へ帰る存在でした。愛が私達。私達の中に愛があつた。このことを、ただただひたすらに伝え続けてくれた母の意識、田池留吉、アルバートの意識に、ありがとうの思いだけを伝えます。

アルバート、私達は次元を超えてまいります。アルバート、ありがとうございます。アルバート、あなたと出会えてよかった。あなたの意識の世界と出会えます。

よかった。アルバートを呼んできた私達宇宙の思いとともに、私は今、あなたの
中へ帰っていくことを確認しています。

時を経て、今、私達は一つの世界を心に広げ感じています。嬉しいです。嬉し
いです。日本の国は、今はもうないけれど、日本の国で、田池留吉とともに学び、
私達はひとつの世界を知りました。苦しかった転生を、すべてそのひとつの愛の
中に包み入れ、私達はともに、ともに真実の道を着実に一歩、歩むことができる
んです。私達の意識、私達の存在は永遠です。

テーマ 「次元移行」

134 もう殆どの方は、気付いておられるでしょう。

喜びにいざなっていくのも自分ならば、暗い思いを膨らませていくのも自分だと。

自分の心次第なんです。ただ心と言っても、基準という課題はありますが、肉からでも、喜んで、喜んで、本当にありがとうの思いを素直に広げていけるようになりましょう。

日々の生活では、色々なところで色々なストレスを受けていくでしょうが、それは致し方のないことです。しかし、私達は、その正しい対処の仕方を学んできたのだから、さつ、さつとプラス、プラスへ変えていきましょう。

明るいか、暗いか、軽いか、重いか、いつも自分の世界を確認して、そして自分に用意してきた肉の時間を大切にしてください。

そして、自分のこれからの転生と次元移行という意識の流れに思いを馳せ、そこからくる波動、エネルギーを心で感じ、心で受け止めていけるような瞑想がで

きるように心掛けてください。

私達は次元移行をしていきます。宇宙とともに次元移行をしていく意識の流れを思いながら、瞑想を継続してください。

145 昨日は、スカイプ瞑想会でお勉強させていただきました。ありがとうございます。残りの三連休は、自分なりに瞑想を集中させてお勉強に努めます。

季節もいい。身体の調子も特にどこかという不具合もない。自分の中の田池留吉、アルバートの意識とともに、私は宇宙に思いを馳せる喜びを深めていこうと予定しています。そして来週からのUTA会セミナーへと臨みます。

私の中には、次元移行という意識の流れが見えています。だから、田池留吉に心の針を向けて合わせていく瞑想だけがすべてなんだ、それはすなわち宇宙を思う瞑想なんだと自分の中から伝わってきます。その私とともに、その私の思いをいつも確認しながら生きていく幸せは、本当に何物にも代えられないものです。

昨日のスカイプ瞑想会で感じさせていただいたことの一つに、今世、こうして学びに集ってきた人達には、何としても、自分を次の転生、その次の転生へと繋いで、ともに次元移行の意識の流れに乗せてくださいということがありました。しっかりと、今世の肉を通して学び、どうぞ、中の自分の心の叫びを受け止め、母の温もりへ、愛へ帰る道をも歩いていただきたいという思いを波動で感じていただいたでしょうか。

どうぞ、ひたすらに田池留吉に心の針を向けて合わせていこうと、真摯にやってください。後三〇〇年。次元移行は現実の出来事です。

179 明日から二泊三日のセミナーが二回（十四日～十六日、十七日～十九日）開催されます。参加予定の方もそうでない方も、ともに喜んで学んでまいりましょう。

日々、正しい瞑想を怠りなくされていますか。愛の円盤の活用はいかがですか。参加云々に関係なく、絶対評価で自分の学びの進捗度を確認して、一歩前に歩

みを進めてください。学べるチャンスが大いに活用して、意識の世界、波動の世界を心で感じていきましょう。

特に後半の榎原でのセミナー参加者は、これまでに少人数セミナーに参加されたことがない人で、著名な科学者、宗教家、文化人を思う瞑想をされた方達の中から抽選で三十五名ということなので、それを前提にセミナーが進んでいくかと思えます。日頃の自分の学びについて、自己評価をお願いします。

本気で真剣に真摯に、自分の意識の世界の変革をとという方は、あと何回あるかわかりませんが、この少人数セミナーの体験のチャンスがあれば、どうぞ、しっかりと活用してください。

次元移行という意識の流れを確信できるような今世の時間にしてください。二五〇年後の出会いを実現できるように学んでください。

190 私は、凄まじいエネルギーであるとか、狂いに狂ったエネルギー、いわゆるブラックを称賛するつもりはないけれど、エネルギーの大きさに着目します。

すなわち、ブラックは自分の本質に目覚めない限り、ブラックのままだけれど、ひとたび愛に目覚めて、エネルギーの質を変換していけば、それは言うまでもなく、大きなパワーを発揮します。

昔、昔、宇宙に心向ければ、私の宇宙と出てきたし、宇宙を支配するとか、闘いの宇宙とかを好み、そういうエネルギーを自分の栄養分にして、さらに大きな宇宙を示していかうとしてきた過去を感じてきました。

だから、そこには絶えず闘いのエネルギーが流れていました。闘いのエネルギーの強弱、大小ですべてを決めてきました。温もりにパワーがあるなんて思いもしなかったことでした。

学びの時は流れました。瞑想を重ね、エネルギーの変換の体験を重ねてきました。私の中で宇宙は変わりました。

次元移行には大きなエネルギーを必要とします。大きなパワーが働いていきます。狂いに狂ってきたエネルギー、凄まじいエネルギーだからこそ、それを反転して、どんどん喜びに変換していけば、それはすごいんです。

自分に目覚め、次元移行という意識の流れを実感できる方向に、一歩進めてください。本来の愛のエネルギー、愛のパワーで、次元移行をしっかりと呼び掛け遂行していける喜びを、堪能してまいりましょう。

282 自分の心の底の、底の、底にあるエネルギーを体感、実感する瞑想の時間がありました。それぞれ心から噴き上がってくるエネルギーを体感し、驚きとともに、改めて自分の中で確認したことがあったかもしれません。

しかし、私は序の口だと思いました。私が確認したことは、心の底から突き上がってくるエネルギーはみんな温もりだということ、喜びだということ、これはこれまでと何も変わりはないことを確認させていただき、榎原セミナーを終えまし

た。

大きな、大きな途轍もなく大きなエネルギーだからこそ、次元移行を果たして
いけることを、私自身は確信しています。だから喜びだけです。限りない温もり
の中で、次元を超えて、そしてまた超えていく、そんな道筋を心に確認できる今
と巡り合っている、それが実感です。

312 一〇年、二〇年、あつという間です。三〇〇年のタイムリミット。

もう秒読みの段階です。意識の世界はそうです。着々と、肅々と遂行されてい
る次元移行への計画。すべてが予定通りに、滞りなく遂行されています。三〇〇
年に向けて、肉を持つ僅かな時間を大切にしていきます。

テーマ 「著名人に語りかける2」

325 イエス・キリストを呼びます。 イエスに思いを向けます。

私は、苦しい、苦しい、苦しい。苦しい。苦しい。私は真つ暗闇の中に落ちている。苦しい、苦しい。私を語ることは止めてくれ。私は神ではない。私は、ああ、ああ……。私の名を呼ぶのは止めてくれ。苦しい。苦しい。苦しい。苦しい。ああ、私は神ではない。私が、ああ、広めてきたのではない。すべては作られた世界だ。すべてが人々の欲が作った世界だ。ああ、私に何の罪がある。私は、ああ、裏切られた。神に裏切られた。そして、私は十字架に掛かった。ああ、この身体にあ突き刺さる矢。

はい、はい、苦しい、苦しい。ああ、私はこの身体に突き刺さる矢をああ、忘れはしない。恨みを持って私はその命を終えた。だから、今も暗闇の中にいる。私にどれだけの力があつたのか。私には何の力もなかった。キリスト教などくそ

くらえ。ああ、私は……。ああ、ああ、神と崇めた神は暗闇の中に沈んだ。私は苦しい。苦しい。苦しい。

私もイエスが肉を持った時代にこの肉を持ったと思います。そして、そのイエスの教えを乞うた。はい、そういう転生だったと思います。

心の中に神と崇めたイエスがいました。私の中に崇めたキリストが、今、語ったキリストだったのでしょか。

私は苦しいですよ。ああ、ああ、私が神と崇めた方が、あのように神に裏切られたと呪って死んでいった事実を、私は隠さなければなりません。崇めよ。崇めよ。崇めよ。神と崇めよ。イエスは素晴らしい。キリストは素晴らしい。私達の教えは素晴らしい。私はそして、聖書を書いた。ああ、ああ、そうです。私は聖書編集に大きな力を尽くした。ああそのことが、この心の中に大きな、大きな闇として残っています。全世界をブラックの世にしたのが、この私の力でした。

苦しい中に、今、語ります。イエス・キリストの闇は私の闇でもあります。

私は間違つてまいりました。苦しい中でイエス・キリストに伝えようと思いました。しかし、私はその思いが、とても大きなブラックの世界だと気付きました。私は、それから何度転生を繰り返してきたことか。キリストを広めてきたのは私です。聖書を読みなさい。聖書には素晴らしい力があるのです。聖書は素晴らしいものです。私は、そのように後世に伝えてきました。なぜならば、編集をしてきたからです。聖書を作ってきた。神の言葉として、私は、キリストの教えを広めてきた過去がございます。

キリストの教えの中で、私は、己を表してまいりました。だから、私はイエスの教えをブラックだと言い切れなかった。今世の肉は、それを言いました。ああ、私の中は驚きました。この肉を通して、私が教えを広めてきた私の過去すべてを消し去るのかと、私は、たくさんの私から責められました。

しかし、私はどうしても、この間違いを語らなければなりません。

キリストは闇です。イエスの教えは間違いでした。

今、語ったキリストの苦しさが心に響きます。だから、私は、今こそ伝えたい。「心の中の闇の、ああ、中にこそ、あなたの喜び、温もりがあるんですよ。私達は愛へ帰る道をともに行くんです。」

私はイエスにそれを伝えなければなりません。

イエスを神とした、神と仰ぎ、そして、ああ、聖書の編集に携わってきました。聖書を広めてきた、一翼を担ってきた私にとって、イエスは、ああ、大きな存在でした。しかし、私は知りました。イエスは、今、闇の底の底にいます。

私にもイエスを崇拜してきた過去の歴史があります。しかし、私の中でイエスに思いを向けたとき、苦しい、苦しい思いの中から、再び蘇る嬉しさを感じます。私はイエスを崇め奉ってきた過去の歴史を悔いています。どうしても神の道を歩きたかった。神を心に入れました。それは私の過去。過去のものとして、私は

自分の心の中を見つめています。

イエスは何も分かりませんでした。イエスを神と崇め奉ってきた私の心の中にも、真つ暗闇が広がっていただけでした。

イエスは神ではありませんでした。イエスが信じたエホバもまた、神ではありませんでした。神でないというよりも、とてもちっぽけな世界でした。暗闇の闇黒の世界に落ちていった。イエスもエホバもとても、とても苦しい中はずつと、ずつと時を経てきたんです。

そして、私はこのように今、肉体を持っています。

私が思い描いてきた神の世界は全く間違っておりまして。神など存在しない。イエスの中に神があると私は思ってきました。私の中に伝わってくるイエスの思いは、私は神であるということでした。

しかし、私はイエスに伝えることができます。

「あなたは自分の本当の姿を知らない。私達は愛へ帰る存在だ。ああ、あなたの

中の暗闇をもっと、もっと明るい方向に向けなさい。母の温もりを心に感じなさい。あなたは母を捨てた。愛を捨てた。自分を捨てた。その苦しみから自分を救い出しなさい。」

私はイエスにそう伝えることができます。

326 イエスに思いを向けた翌日、私は、マリアを心に握ったままこの世を去った学びの友の縁者にばったり出会いました。偶然はないので、マリアに、心を向けてみます。

私は聖母マリアと呼ばれていました。しかし、私の中は、そんなところではありません。私の心の中には聖母マリアと呼ばれ崇め奉られた、そんな思いなどどこにもございません。ただただ苦しい。なぜ、私はああ、そのように呼ばれたのか。間違っている。何もかもすべてが間違っている。私はふしだらな女だ。私は、ああ、心の中の苦しさを今、今、ああ訴えたい。どうしても、どうしても、苦しみの中から抜け出すことができない。なぜ私をそう呼ぶのか。私は素晴らしい者ではない。私の中はただ暗闇の中に沈んでいる。苦しい、苦しい。苦しい。暗い、暗い、ただ暗かった。暗くて、暗くて冷たい。ただただ助けてください。私は、ああ、苦しいです。ああ、ああ、私は苦しいです。

マリアと呼ばれ奉られてきたあなたの姿。私達はそのように見てきました。しかし、心の中にあなただを思うとき、とても、とてもそれどころではないとあなた自身が語ったように、今のあなたの状態は、とてもとても言葉では言えないほどの苦しみの中にあります。

みんながあなたに思いを向ければ向けるほど、あなたは落ちていくんです。ただただ真つ暗な中に落ちていく。そして、思いを向けた人達も同じです。私はそれを感じます。

マリアと呼ばれた意識に、私はこの思いを伝えたい。どうぞ、あなた、お母さんと呼んでください。ああ、あなたの苦しみが少し、ほんの少しでも和らいでいくならば、それでいいのです。ただただお母さんと呼んでください。あなたが、過去、どのような思いの中に生きて、どのような行動を取ってきたか、それはいいのです。今、あなたがお母さんと素直に呼べるか。今、あなたの中にお母さん

と呼んでみてください。

ああ、お母さん、お母さん、お母さん。私は、ああ、お母さんと呼びたかった。苦しい。苦しい。ただただ苦しくて、苦しくてなりません。

お母さんと呼べば、ああ、私の中に少しづつ、何かがああ伝わってきます。温かいんです。ああ、お母さん、お母さん。ああ、お母さん。お母さん。ああ、お母さん。呼びたかったお母さん。

母の温もりの中にあつた私達。なのに、どうして、外に温もりを求めていくのだろうか。私達の中にあつた喜びも幸せも、ああ、すべてを捨て去って、外に、外に向けてきた私達の心が、ただただ苦しかっただけでした。マリアよ、あなたもそうでした。あなたもそう。自分の姿を知らずに、ただただ、時の流れの中で身を任せていた。あなたの思いの中には、優しい母の思いがあるんです。どうぞ、

思い出してください。

これから、あなたの中にも少しずつ、変化が見られるでしょう。

マリアと呼ばれた意識に思いを向けさせていただきました。心から、心から、心から向けさせていただきました。ともに、帰れることをお伝えします。どうしても、心から呼んでほしかった。本当の喜びと温もりをあなたに知っていたいただきたい。そうすれば、あなたを思う意識達にも、また少しづつ、ほんの少しづつでも、変化が起こってくる。それが意識の世界だと私は思っています。

苦しい中にあるあなたに思いを向けさせていただきました。愛は私達の中にありました。愛は私達でした。母の中へ戻ってまいりましょう。

327 シスター（修道女）

醜い争いを繰り返してきた。清楚な姿などどこにもない。神を慕い、神の御許にいける喜びを称えんとするシスターの裏の顔を私は知っている。シスターは色に狂う。そして、我を忘れ、ただただ己を表す。キリストをないがしろにしてきた思いを、シスター達は心の中に大きく、大きく広げてきた。イエスを神だと信じない心の中で、イエス・キリスト、主よ、主よと祈る姿は本当に化け物に近い。苦しい中で、シスター達は言った。我のこの心の中に神が宿る。この心の中に神が宿る。我を見よ。我を見よ。私は素晴らしい。シスター達の争いが日々繰り返される。苦しい中にシスター達は沈んでいった。たくさんの過ちを繰り返した。

ああ、どの時代も、その身を捧げてきた。我のため。我のため。我のため。我一番のため。シスター達は色に狂う。それこそ、摩訶不思議な世界に自らの心を解き放していきなかった。けれど、それは到底叶わないこと。苦しきだけが、心

を覆い尽くす。地獄の苦しみを味わってきたシスター達の思いが心に届く。イエス・キリストを心の中に蔑みながら、私は素晴らしいと、神を、神を求めていくシスター達の、狂いに狂ってきたエネルギーが、心の中にどんどん広がっていく。

しかし、今、私は伝えます。

苦しいけれど、その中にあなたの中に、真実があることを、ただただ伝えます。シスター達よ、どんどん心を向けてください。優しい母の温もりを伝えます。苦しい中に、あなたの苦しい中に、母の優しい思いを届けたいです。

愛は、ああ、ああ、愛は、ああ、あなたが知っています。知っています。

どうぞ、心を向けてください。

328 仏陀のほうに思いを向けてみます。

仏陀よ、語りなさい。

私は仏陀と呼ばれた意識。とても苦しい、苦しい。苦しい。苦しい。苦しい。苦しい。苦しい。真つ暗闇です。私の名前はああ、仏陀と言うんですか。私は、今、どこにいるんですか。どこにいるのかさえ分からない。私は真つ暗闇の中に、私は身も心も冷たく、冷たく固まった状態です。苦しい。苦しい。苦しくて、苦しくて、寂しくて、辛いです。ああ、寂しいです。ああ、母さんと呼んだけれど、ああ、苦しい。苦しい。私は寂しかった。寂しい。寂しい。寂しい。

ああ、私はそんな大それた人物ではなかった。私の名は後々まで残っているのか。ああ、それなのに、なぜ私は、この苦しみの中にいる。私の心はどこ。私は何を彷徨っているのか。彷徨っているだけならまだしも、私は暗い、暗い、全く真つ暗な中にある。この小さな、小さな中に固まっている。ああ、誰か私に伝えてください。

この心がとても苦しい。私は苦しい。苦しい。

仏陀よ、あなたの苦しみは心の中に届いています。あなたに問い掛けてきました。あなたは何者ですか。あなたの中にある優しさ、喜びを、あなたは忘れていたのではないですか。あなたの中の苦しき、寂しさだけをあなたは訴えています。そうではなく、あなたの中に優しさ、温もり、母の温もり、母の思いがあることをただただ問いかけてください。

心の中にお母さんと呼んでください。あなたは何者でもありません。ただただ母を求めてきた。愛の中にあつたことをお伝えします。あなたは優しいんです。温もり、喜び、広がる心があなたです。あなたは、ご自分を全く忘れ去った。そして、あなたはただただ凝り固まっていった。どれだけの時を経てきたのか。

この地球上で、あなたの名を知らない人は少ないでしょう。それほどあなたの名はみんな知っています。

しかし、あなたの現実は今、あなたが語ったような苦しさ、暗さ、重さです。ああ、ただただ寂しく、重い、重い中に自分を閉じ込めている状態です。

そんなあなたに今、届けます。苦しい中からご自分を解き放つのはあなた自身です。あなたの中の愛に目覚めること。優しい母の温もりはあなたの中にありました。

あなたは母を求めてきました。しかし、母に求めてきた愛は偽物でした。ただ寂しかった。母に振り向いて欲しかった。ただただ寂しかったから、母に似た人を求めました。あなたの周りには、たくさんの人が群がっていきます。あなたの素性、あなたの容姿、あなたの語る言葉に惹かれ、なにがしかの魅力を感じた人達が群がっていくのです。

そして、そこには闘いが起こりました。我こそ、我こそという闘いです。

そんな中で、あなたは空しさと、どうしても自分の心の苦しさを、満たされないう寂しさを募らせていくだけだったんです。

そして、あなたは、たくさん、たくさん欲の中で、群がる人達の中で、小さな中に閉じ籠り、あなたは命を断たれました。

あなたは殺されたのです。あなたはその生涯を、他人の手で終えました。

あなたの生涯を全うしたわけではありません。それはあなたが自ら招いたことだと言えると思いますが、あなたの寂しさから、すべての人の心を狂わせていった。その思いはどのような思いであり、エネルギーはどんなエネルギーなのかということ、あなたはこれまでに自らを通して感じてきたでしょう。暗く苦しく重く、ただただ寂しく、小さく、小さくその中に閉じ籠っているところから、あなたは自分を解き放つことができない、その苦しみは自らを捨てた苦しみでした。

そして、あなたは今、私達と出会っています。そして、ああ、苦しい、苦しいと訴えています。

しかし、ただ訴えるだけはいけません。

あなたの中に思いを向けなさいと、私達はあなたに伝えます。あなたの中には、

喜びと温もり、優しさ、母の思いがあったんです。そんなあなたに戻ってまいりましょうとただただ伝えます。

仏陀よ。もう目覚める時でございます。私達の思いが、あなたの中にも届く時がやがてやってくるでしょう。そうすれば、この地球上に色々な事が起こってまいります。エネルギーが、間違ったエネルギーが、正常なエネルギーに戻っていき、そこには大きな力が働きます。それを私達は引き起こしていきます。すべては愛に帰る喜び、愛に帰る道がそこにあるからです。

スティーヴン・スピルバーグさん、
あなたの人生はどんな人生ですか。
今、あなたは幸せですか。

スティーヴン・スピルバーグさん、あなたは、「未知との遭遇」や「E.T」などのSF映画を作製、監督されてきた方ですね。今のあなたの中を語ってみてください。あなたの人生はどんな人生ですか。今、あなたは幸せですか。

はい、映画監督という生業を通して、私は自分の中を語っていきたくて思ってきました。しかし、自分の中とはいったい何だろうか。その疑問が、未だに自分の中で解けていません。

そして、私の今の状態、今、幸せかということですが、幸せと呼べるのはどういう状態なのか分かりません。

お金はあります。名誉もあります。物質的に何も欠落しているところはありません。しかし、私の中には、何かが欠けていることを、私はこの歳を経るに従って、心の中に感じている状態です。

何か欠けている。それを私の生業としている映画の世界を通して、訴えていきたいのですが、その訴える自分自身が、私自身がよく分からないんです。何が欠けているのだろうか。今、私は私にもう一度問い掛けてみます。

スティーヴン・スピルバーグさん、あなたの中に、欠けているものは、何でしょうか。

実は、あなたは自分の本当の人生を生きてこなかったんです。

自分が生まれてきた意味を心の中に知ることなく、今まで来たということなんです。

あなたの中はそれを訴えています。その目に見える肉体という形を本物としているあなたの思いは、それをキャッチできていませんが、あなたの中は、絶えずそれを訴えています。

自分は何でここに存在しているのか。何のために生まれてきたのか。なぜ私は映画監督というものを生業としてきたのか。その回答はみんなそこにあるんです。

自分が生まれてきた意味とは、あなたが本当のあなたに出会っていくことです。ただ、本当のあなたとはと、今、あなたに問い掛けても、あなたは、回答が出せないと思います。

それは、あなたがずうっと、自分を、肉、形というところから見えてきた、そんなあなたが、ずうっとそこにあるからです。その見方を変えていきましようということ、あなたに呼び掛けたいと思います。

よろしいでしょうか。

私達は、肉体という形を持っていますが、私達はエネルギーなんです。意識なんです。私達は、今世というこの時間の中では、あなたと出会っていません。互

いに面識はありません。あなたは、マスコミなどで顔を知られていますから、この人がスティーヴン・スピルバーグさんだと、私達は認識できます。しかし、あなたは私達を認識できません。

いいえ、認識してくれなくてもいいんです。今、あなたと語り合っている私達の存在、それをあなたがしつかりと確認できてくだされば、それでいいんです。

あなたの中の意識は、私達の思いを聞いています。

ということ、スティーヴン・スピルバーグさん、どうぞ、あなたの心を向ける方向をあなたの外ではなく、あなたの中へ向けてください。

あなたの中へ向けることを、残り少ない人生の時間の中で、少しずつやってみてはどうでしょうか。

さて、今、あなたの中へ向けると言いましたが、具体的にもう少し、私達はあなたに語りたいと思います。

あなたの心をあなたの中へ向けるとは、そうですね、あなたの中のお母さんを

まず呼んでみましょう。あなたの中のお母さんです。

あなたを産んでくださったお母さんは、あなたの外にいます。そうではなく、あなたの中にお母さんです。それは言うなれば、あなたの中の温もりなんです、その温もりのほうに向けて、お母さんと呼んでみてください。

あなたの中がどのように反応していくか。今、自分の中にあつた温もりに向けてお母さんと呼んでみてください。

はい、お母さん、お母さん。そう、はい、私はスティーヴン・スピルバーグと呼ばれてきた人生の中で、こんなに優しい思いに触れたことはありませんでした。お母さんと思いを向けてみました。

私の中がお母さんと呼ぶことをこんなに望んできた、待ち望んできたと思うほど、私の中は、お母さんを求めていたことを感じます。

ああ、お母さんと呼べるのが嬉しいなんて、私は、ほんの今まで、今まで、

全く思いもしませんでした。

私は母を思っています。私の外にある母を、今、思います。私の母は、ああ、私をこのような私に向けてくださいということ、私を産んでくださったのですか。ああ、ああ、私の外にいる母親からは、到底理解できません。

しかし、心の中に母を思えば、そうなんです。そうなんです。これはどうしたことなんでしょうか。こんな不思議なことがあるのでしょうか。

私の外にいる母親からは、全く想像もできないけれど、私の中にいる母は私に、そのように伝えてくれています。

私の思いを感じてくださいと。私の温もりを心に広げてくださいと。それがあなたですよ。あなたはこの温もりの中にあるんですよ。あなたの中の喜び、温もりを、どうぞ、今、あなたの心で感じていってください。その感じた思いの中で、あなたの仕事をなさってくださいと伝わってきます。

ああ、私はこの喜び、優しさを忘れていました。私は私の中で、何かが欠けていると思ったのは、このことでした。

私は、ああ、ああ、ああ、間違って、間違って、ああ、己を、スティーヴン・スピルバーグという名前を広めてきただけのことでした。

スティーヴン・スピルバーグさん、今、あなたが感じた優しい思い、温かな温もりの中で、あなたが作ってこられた「未知との遭遇」、「ET」、その他の作品の中で、宇宙とか、宇宙人というところがありますね。そのほうに少し、心に向けてみてください。

ああ、私が広げてきた宇宙とか、感じてきた宇宙人というイメージは、全く間違っておりました。ちっぽけな、ちっぽけな形の世界で、私は宇宙とか、宇宙人とかいう、その世界を知らしめてきただけのことです。

ああ、間違ってきた。私の中は、ああ、間違ってきた、間違ってきた。宇宙と

はそんなちっぽけな世界ではなかったと伝えてきます。

ああ、優しい温かな温もりの中で、宇宙を呼んでくださいとも伝わってきます。

私達は宇宙に存在しているエネルギー。愛のエネルギー。温かな優しい、優しい、どこまでも、どこまでも広がっていく、限りなく広がっていく温かなエネルギーなんです。そんなエネルギーの中に、あなたも存在しています。私達は一つに溶け合って、この次元を超えていくんです。

どうぞ、あなたもこの道筋を心に感じ、心に広げていってください。

あなたは、これからの転生の中で、この道筋を感じていけるような計らいになっていると思います、どうぞ、次元を超えていきましょうという私達の呼び掛けに、喜んで応じていただきたいと思います。

そして、あなたを待つ映画ファンの方達に、喜びの映画を届けてください。宇宙、宇宙は喜びです。私達と同じ愛のエネルギーの中に存在しているんです。どうぞ、

一つであることを伝え続けてください。そんなあなたであってください。あなたの中に、今、伝えます。

私達は一つ。あなたも、この次元を超えて、ともに一つであることを目指して進んでいく意識であることをお伝えしたいと思います。



「意識の流れ」ホームページより

私の瞑想より vol.3

初版発行 2015 年 10 月 31 日

著 者 塩 川 香 世

装 丁 金 子 互

組 版 朝 日 め ぐ み

電子図書製作 一般社団法人 U T A ブック

発 行 一般社団法人 U T A ブック

TEL 0721-69-7812 FAX 0721-69-7954

印刷・製本 モリモト印刷株式会社

© Kayo Shiokawa, Printed in Japan 2015